令和6年 第14回 川口市教育委員会定例会会議録

日 時 令和6年8月23日(金) 午前9時30分

場 所 ワークファンルーム会議室1・2

1 出席者

教育長		=	井	上	清	之		書記長		水	沼	弘	実
委	員	7	齌	藤		卓	:	書	記	竹	田	暢	之
委	員	1	中	田	裕	之	:	書	記	今	本	敬	幸
委	員	7	菅	原	京	子		書	記	渋	谷	美	月
委	員	,	小野寺		秀	明							

2 説明のため出席した者

副教育長 大内昌弘

学校教育部長 丸 山 陽 一 (専門委員長)

指導課長 池 田 光 伸

専門委員	上	倉	義	郎	指導主事	大	野	寛	人
専門委員	宮	Ш	靖	明	指導主事	天	野		亮
専門委員	岸	田	健	吾	指導主事	奥	木	隆	之
専門委員	功	刀	幸	代	指導主事	佐人	木	淳	_
専門委員	三	浦	伸	之	指導主事	磯		奈保子	
専門委員	小	出	喜代子		指導主事	笠	原	たまき	
専門委員	小	野		毅	指導主事	米	倉	孝	輔
専門委員	Щ	本	智	広	指導主事	村	越		崇
専門委員	荻	上	晃	司	指導主事	西	牧	孝	子
専門委員	片	倉	有	紀	指導主事	千	葉		悠
					指導主事	小	Щ	泰	昇

 主任指導主事
 原
 卓
 範

 指導主事
 中
 嶋
 康
 雄

休 会

井上教育長 進行の都合上、日程第6の議事のうち、議案第91号及び議案第92号が 人事案件のため、はじめに、第14回教育委員会定例会を休会とし、秘密会

を開催したいが如何か。

委員 (異議なし)

井上教育長 異議なしと認め、議案第91号及び議案第92号は秘密会で行うこととし、 休会する。(午前9時31分)

再 開

井上教育長 再開する。(午前9時40分)

3 前回会議録の承認

井上教育長 第13回教育委員会定例会会議録については、書記より、各委員に事前配付している。質疑があればお聞かせ願いたい。

【質 疑】 (質疑なし)

【承 認】 (全員異議なく承認)

4 教育長報告

なし

5 協議事項

なし

6 議事

【上程】

井上教育長 議案第93号「令和7年度使用中学校教科用図書の採択について」を上程 し、説明を求める。

【説明】

指導課長 (指導課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】

専門委員長 本年度の専門委員会のこれまでの経過について報告する。

5月23日に専門委員会が組織されてから、「川口市立小・中学校使用教料用図書の採択に関する規則」に則り、全3回の専門委員会を行ってきた。 具体的には、規則に定められている調査研究機関である各調査員会からの調査結果、各学校長からの全ての教科書についての報告を踏まえた上で、さらに情報を収集しながら、保護者のご意見等も参考とし、とりまとめを行った。 その際、学習指導要領の趣旨を生かした各教科書の編集についてと、川口市の生徒の実態に即して、学ぶ上で、より「有効・適正」な教科書であるかという2点を中心に、分析・研究をしてきた。これらの分析・研究結果については、すでにお渡ししている。経過説明は以上である。

井上教育長

それでは、本市の生徒の課題を踏まえて、生徒にとって学びやすく、教員 にとって指導しやすい教科書はいずれかという観点を踏まえ、採択していき たいと考える。

まず、各専門委員に、専門委員会での調査員会や学校からの報告、保護者の意見等に基づき、調査、分析した内容について説明を求め、質疑の上で、協議に入るという形で進めたいと思うが、それでよろしいか。

委 員

(異議なし)

井上教育長

それでは、教科書の協議に入る。

まず、国語・書写の専門委員・事務局の入室を求める。

(国語・書写専門委員・事務局 入室)

専門委員会として、各学校からの報告書並びに調査員からの報告書等の意見を十分汲み取って検討されてきたと思うが、教育委員会としても学習指導要領の趣旨に則り、「生徒にとって学びやすく、教員にとって指導しやすい」という観点でよりよい教科書を選んでいく考えである。そこで専門委員・事務局に入室をお願いした。

これから、国語の教科書について、専門委員会の調査、分析等の内容等を 説明いただいた上で、質問をさせていただく。国語の後で、引き続き書写に ついて改めて説明をお願いする。

それでは、まず国語から報告をお願いする。

上倉専門委員

国語について報告する。国語では、川口市の生徒の国語における課題について、そして、川口市の国語科の教員について確認し、これらを踏まえて検討を進めた。

それでは、学校の調査報告書や保護者意見も踏まえて、各社の教科書について特徴を申し上げる。

東京書籍は、題材ごとに設定された「てびき」によって、目標から振り返りまでが示され、生徒も教員も学習の見通しが立てやすくなっている。また、デジタルコンテンツでは自主的な学習を促す教材を多く取り扱っている。同様に「資料編」も活用を意識したつくりになっており、どちらも有効活用することで、生徒の主体的な学びや、より深い学び、学習内容の定着を促すことができるよう工夫がなされている。学校調査からは、掲載されている作品の難易度が高めで、味わい深い点や、『話す』活動を重視している点を評価する所見等が見られた。

続いて三省堂は、要点が「資料編」に集約され、「読むこと」の題材が「書くこと」の題材につながるように構成されているなど、活用につなげること

を意図したつくりとなっている。また、デジタルコンテンツにおいては、主体的に取り組むことができるドリル課題が豊富に用意されている。さらに、題材ごとに「思考の方法」が設けられ、考え方や見方を図示して理解が深まるような工夫がなされており、学習活動と関連付けて学ぶことができるという点や、巻末の「資料編」が充実している点に特徴がある。学校調査からも、便覧が必要ないほど資料が充実している点や、視覚的な捉えやすさを評価する所見が見られた。

次に、教育出版は、主体的に学習に取り組むための、資料や解説が充実しているという特徴がある。特に随所に示されている「学びナビ」により、学習内容のポイントが明確であり、見通しをもって学習に取り組むことができるような工夫がなされている。また、一つの教材から他の活動へ発展させていく流れを意図的に設定し、多様な言葉の力を学ぶことができるような構成が工夫されている。学校調査からも、『学びナビ』による学習ポイントの明確化や、『学びのチャレンジ』により、総合的な学びの力を知ることができる点を評価する所見が見られた。

最後に光村図書は、題材ごとに「学びへの扉」が横書きで示され、この1ページで見通しから振り返りまで、さらに学習のポイントまでもがわかりやすく把握できるという特徴がある。また、身に付ける資質・能力に対応して示された「学びのカギ」により、学習する上での基本的な事項が押さえられている。さらに、新たに収録された「語彙ブック」により、表現の工夫や言語感覚を磨くことができるよう工夫がなされている。学校調査の評価は最も高く、調査員と同様に、「語彙ブック」や「学びへの扉」を評価する所見が見られた。

保護者意見としては、東京書籍と光村図書に掲載されている問題について の評価や、光村図書の「語彙ブック」への評価の高さが見られた。

井上教育長

ただいまの報告について、質疑を行う。何か質問はあるか。

菅原委員

専門委員の説明にもあったが、川口市の生徒の課題について、毎年実施されている全国学力・学習状況調査や県の調査結果からわかる国語科に関する 川口市の生徒の実態をお聞かせいただきたい。

指導課長

昨年度の埼玉県学力・学習状況調査の結果については、3学年とも県や全国の平均を上回った。今年度の全国学力・学習状況調査もおよそ県、全国の平均と同様の結果となった。一方で、多くの設問について、無回答の割合が高く、中でも、資料や表現の効果を活用し、自分の考えがわかりやすく伝わるようにまとめる力を問う問題について、県や全国と比べて無回答率が特に高く、課題があると捉えている。

菅原委員

今の回答に関して、無回答率が高い課題については様々な理由があると思うが、この課題については、授業ではどのように対応しているのか。

上倉専門委員

学校現場では、思考力・判断力・表現力等の指導事項として、指導が行わ

れている。具体的には、「話すこと」の2学年の指導事項として、「資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。」が設定されている。また、「書くこと」の3学年の指導事項にも「表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫すること。」とあり、これらの確実な授業実践により、生徒が表現するための資質・能力を育んでいる。

齋藤委員

川口市の生徒の課題である、資料を用いたり、表現を考えたりして、自分の考えをわかりやすく伝わるように表現することについて、その力を身に付けさせることに適した教科書とはどういうことか、その視点や特徴などを具体的に説明してほしい。

上倉専門委員

生徒が様々な資料や表現方法を用いて、自分の考えを伝える力をつけるためには、繊細な言葉の種類や、その細やかな違いに触れ、また豊富な表現を用いた文章を読むことを通して、その良さを知る必要がある。その点について各社とも様々な工夫がされているが、中でも三省堂と光村図書には、川口市の生徒に適した特徴があると考える。例えば、2社の3年生の教科書をお手元にご用意いただきたい。

まず三省堂について、教科書を閉じた状態でも、表紙にあわせて着色されており、資料編が開きやすくなっている。教科書の後半が資料編と、充実しており、内容も多岐にわたり、語彙を豊かにすることや、表現の活動につなげることが期待される。

続いて光村図書だが、やはり資料編は着色されている。その手前にある、 少し小さな「語彙ブック」をご覧いただきたい。具体的な言葉の例により、 自分の思いにあてはまる言葉を選ぶことで、表現の工夫や言語感覚を磨くこ とへ活用されると考える。

小野寺委員

川口市の国語の教員の課題について、教えていただきたい。

上倉専門委員

担当の指導主事によると、川口市の国語科は、教員の人数が約100名と多く、他の教科ほど、極端な年齢の偏りはない。それでも、全体の約6割を20代と30代の教員が占めており、比較的経験の浅い教員が多く、授業においても指導内容が不明確であったり、教材と言語活動、指導事項のいずれかが、適切ではない授業であったりすることも散見される、との報告を受けている。

小野寺委員

若い教員が多いということだが、そういった、経験の少ない若い教員にとって、より使用しやすい、あるいは助けになる教科書はあるか、お聞かせいただきたい。

上倉専門委員

教育出版と光村図書が経験の浅い教員の助けになると考える。例えば、教育出版は各教材の本文の前に「学びナビ」を設けることで、その教材で、何を学ぶのか、どの様に学ぶのか、学習のポイントがわかりやすく整理されている。光村図書は、各教材の終わりに「学びへの扉」が設けられ、学習の流

れや、中心となる内容を横書きで示すことにより、この教材で何を学ぶのか、 どこまで学習が進んでいるのか、ひと目でわかる。このように、生徒も指導 者も、目的と見通しをもって、学習に臨むことができるよう、意図されてい る。

中田委員

前回の採択から4年経ち、大きく変わったこととして、ICT機器を利用したQRコードによるデジタルコンテンツが充実している、ということを感じる。各社がどのように活用しようとしているのか、どんな工夫をしているのか、お聞かせいただきたい。

上倉専門委員

委員のおっしゃるとおり、各社とも、QRコードの量も内容も充実している。まず東京書籍は、各題材にあるQRコードから、家庭学習にも使用できる予習、復習に対応した教材を利用できるよう工夫している。三省堂は、4社中最も多くのQRコードを掲載し、漢字と文法のデジタルドリルが用意されている。次に教育出版は、各教材にある「まなびリンク」から家庭学習にも活用できるデジタルコンテンツを利用できるように工夫されている。最後に光村図書は、デジタルコンテンツには、発展問題を含んだ「国語の力試し」や、書くことが苦手な生徒のための「書くことのミニレッスン」があり、充実している。

井上教育長 学校からの報告書では、光村図書の評価が高いようだが、具体的にどのよ うな点が評価されているのか教えていただきたい。

上倉専門委員

学校報告からの一例を挙げると、例えば「情報整理のレッスンが段階を踏んでいてわかりやすい」「情報整理のレッスンなど、現代社会において必要な能力を育成する時間も設けられている」「語彙ブックなど、生徒が自ら活用しそうな資料がある」「生徒が言語感覚を養うための工夫がなされている」「学習の流れが横書きで見やすく、端的にまとまっていた」「『学びへの扉』で学習流れを示し、見通しを持って学習に取り組めるよう工夫されている」などの所見が見られ、これらのことから総合的に評価が高くなっているものと考えられる。

井上教育長 他にご質問はあるか。無いようなので、国語に関する質疑を終了し、続いて、書写について調査報告をお願いする。

上倉専門委員 書写について説明する。

まず、東京書籍は、これから学ぶ内容に対応できるよう、学習の先まで見通して構成されている点が工夫されている。また、生活に生かすための題材設定や「行書のまとめ」、「書写テスト」などにより、繰り返しによる定着を図るための工夫にも特徴がある。学校調査からは、オノマトペによる運筆の説明が、外国籍の生徒にも理解がしやすいとの所見があった。

続いて三省堂は、各教材のはじめに「目標」があり、見通しを持ちやすいように構成されている。また、書く活動を実際に行うための工夫がされている。特に「書いて身につけよう」では、学習内容を様々な場面で活用するこ

とを念頭に設定され、日常生活を見据えた工夫がなされている。学校調査からは、課題を明確にした書き込み部分があり、意識すべき点がわかりやすい との所見があった。

次に教育出版は、大ぶりなサイズや、硬筆や小筆の運筆動画などが特徴的である。また、小学校から中学校への学びの流れや、平易な表現、視認しやすいアイコン、中心線を付すなど、構成にわかりやすさへの工夫が見られる。そして、課題に対する気付きや、振り返りができること、なぞり書きができるような教材が収録されていることなど、生徒が活動しやすいという特徴も見られた。学校調査からは、書写で学んだことの様々なシチュエーションでの生かし方が示されている点を評価する所見があった。

最後に光村図書は、他教科や領域、SDGsにも配慮したつくりとなっている。また、資料の内容などが、生徒や指導者にとって分かりやすく使いやすい教科書を目指していると受け止められる。特に本編と書写ブックに分割するつくりによって、必要な力を集中して学ぶこと、そしてその内容を生かして本編の学習に取り組むこともできるようになっている。学校調査においても、最も高く評価されていた。また所見では一例として、「書き初めマスターブック」をはじめとする文字文化に触れる教材や生活につながるような資料が工夫されている点が、評価されていた。

保護者からは、教育出版の細かなレクチャーを評価する意見が見られた。 ただいまの報告について、質疑を行う。何か質問はあるか。

齋藤委員 上倉専門委員

井上教育長

書写の教育における川口市の生徒の実態について、お聞かせいただきたい。 小学校で、姿勢や筆の持ち方、筆圧、墨の量等、一つひとつの内容を丁寧 に指導されており、教員の指導における学びを生かし、多くの生徒が、うま く書けるようになったことに喜びを感じている。また、校外で習字を習って いる生徒もおり、県の作品展に出品するような生徒は、ある程度決まってい るという実情もある。

菅原委員 書写は国語科の教員が担当されることが多いと思う。国語科の授業は見る ことが多かったが、書写の授業を見る機会は少なかったため、今の川口市の 書写の授業の状況を教えていただきたい。

上倉専門委員 中学校においては、書写の配当授業時数は1年生と2年生は年間に20時間程度、3年生は10時間程度とされている。授業での定期的な取組に加えて、6月の硬筆展と、年始の書き初め展へ向け、集中して取り組んでいる。また、国語科での俳句や短歌などの詩作の授業と連動させ、色紙などに記す取組の中で指導を行う授業もある。また、国語の教員といえども書写を専門としていない場合もあるため、様々なことに取り組む中で苦労しているという話も聞いている。

でである。 では、 では、 ではないと思う。 国語科の教員が書写を指導する中で、 実際にどのようなことに苦労しているの か。また、そのことに対して助けとなる教科書はあるか。

上倉専門委員

指導主事がよく相談を受けたり、話題に上がったりすることが2点ある。 1つ目は、筆圧についてである。身についていない生徒が多く、どのように 指導すれば筆圧の調節が伝わるのか、苦労している。また2つ目は、生徒の 名前の手本を手書きで作成してあげることが難しい点である。パソコンの文 書作成ソフト等で打ち出したものは、温かみに欠け、また行書については続 く文字への筆脈が正確でない場合もある。これらの状況に対し教員にとって 助けとなる教科書については、東京書籍と光村図書があげられる。筆圧につ いては、東京書籍が「とん、すう、ぴた」といったオノマトペを用いた表記 をしてわかりやすくなっている。また光村図書は3段階の数値化をして筆圧 を表現している。また、生徒の名前の手本については、東京書籍と光村図書 の双方が、常用漢字に加え人名漢字表を掲載し、生徒の名前に用いられる多 くの漢字が扱われている。さらに光村図書は教員用の指導書に、手本文字作 成ソフトが附属している。

井上教育長

各社の教科書の特徴的な点をもう少し具体的にお聞かせいただきたい。

上倉専門委員

各社の見本を用いてご説明する。東京書籍は、巻末の「書写活用ブック」が目を引く。また、教員用の動画では、左利きの生徒への指導方法も収録されている。三省堂は、まとまりごとに「書いて身につけよう」という項が設けられ、反復練習とともに、学習内容を日常の様々な場面で活用することが想定されている。教育出版は、文字に中心線が引かれていることや、写真図版が充実している等、学習者を支援する親切な工夫が凝らされている。光村図書は、手本が半紙の原寸大で掲載されており、生徒にとって文字の大きさがつかみやすいという特徴がある。また、カラーUDでありながらも、紙面には明るい印象がある。

小野寺委員

書写の教科書は、国語の教科書と同じ出版社が発行しているが、国語と書 写は同じ出版社の方が使いやすいのか。

上倉専門委員

国語の授業で扱った文章が、書写の題材として扱われていたり、関連していたりすることもあるが、書写の指導事項は、書写として指導し評価するものであるから、必ずしも同じ出版社である必要は無いと考える。

中田委員

QRコードによるデジタルコンテンツに関して、書写ではどのような点が 指導に役立つのか教えていただきたい。

上倉専門委員

例えば、最もQRコードの掲載数が多い光村図書でも、3学年合計で40 カ所と掲載数は少なめだが、各社とも、用具の準備や運筆等の学習に役立つ 動画が見られるように用意されている。特に伝わりづらい運筆が、動画によ り目の前で繰り返し見ることができる点は、大きな利点と言える。

井上教育長

他にご質問はあるか。無いようなので、これで書写に関する質疑を終了し、 国語及び書写の教科書を決定していきたいと思う。まず、国語について採択 すべきであると考える教科書を1社挙げ、その理由についてもお願いしたい。 中田委員

光村図書がよいと考える。川口市の生徒の状況や教員の年代など、様々な ことを考えると、光村図書が1番ふさわしいのではないかと考える。

小野寺委員

私は、光村図書がよいと考える。「学びへの扉」で学習の重要なポイントが 分かりやすくなっており、「学びのカギ」で学習の基本的な事項が押さえら れている。また、「語彙ブック」で表現の工夫や言語感覚を磨ける工夫がさ れている。生徒と教員が使いやすいものとなっている。

菅原委員

光村図書がよいと思う。言語活動の充実という点から、光村図書は3年間を通して系統的に学べる工夫があると感じた。また、専門委員からもあったが、「語彙ブック」や資料編がとても充実しており、生徒が活用することで、言語感覚を養えるのではないかと考えた。

齋藤委員

三省堂と光村図書で迷ったが、光村図書を推したい。「語彙ブック」がかなり大きなポイントとなった。語彙力に課題がある生徒が多い中で、活用することによって、高校受験にもつながると考える。国語科は、語彙力がないと伸びていかないのではないかということもあり、それを考えると光村図書がよいと考える。

井上教育長

続いて書写について、お願いする。

中田委員

光村図書がよいと思う。広げた時に、半紙の原寸のものがあり、わかりやすい。

小野寺委員

私は、光村図書がよいと考える。まず、スタートブックが用意されていて、 取組やすいように考慮されている。また、表記上の工夫、字が大きいという ことや、学習のステップや書写ブックを含めた資料が豊富であるということ など、生徒と指導者にとって分かりやすい教科書になっているのではないか と思う。

菅原委員

私も光村図書がよいと思う。お二人とほぼ同じ意見だが、書写に長けていない教員の助けとなり、どのような教員でも指導しやすい工夫がされているという理由から光村がよいと考える。

齋藤委員

私も光村図書を推薦したい。中田委員もおっしゃっていたが、半紙の原寸 大はインパクトが強い。半紙は、このようなところでないと目にしない子ど もたちも多いのではないか。半紙に練習するのが書写の基本であるというと ころで、非常に興味をもたせる構成になっている。

井上教育長

私も、国語・書写について、光村図書が適していると考えた。

国語について、「語彙ブック」「学びへの扉」など、まず生徒の学習意欲を 引き出すのに非常に有効だと考える。また、学習の流れが非常にスムーズに なっていることから、教員にとっても非常に使いやすい教科書となっている と感じた。

書写について、各委員のおっしゃるとおりだと思う。また、国語の教科書 との連動性の工夫もされているということで、ここは高く評価できるのでは ないかと考える。 これまでの協議の内容や各委員のご意見から、国語は光村図書、書写も光村図書を採択することに決定してよいか。

委 員

(異議なし)

井上教育長

以上で国語・書写について、協議を終了する。専門委員と事務局は退室を。 (国語・書写専門委員・事務局 退室)

井上教育長

次に社会・地図の専門委員・事務局の入室を求める。

(社会・地図専門委員・事務局 入室)

専門委員会として、各学校からの報告書並びに調査員からの報告書等の意見を十分汲み取って検討されてきたと思うが、教育委員会としても学習指導要領の趣旨に則り、「生徒にとって学びやすく、教員にとって指導しやすい」という観点で、よりよい教科書を選んでいきたいと考える。そこで、専門委員・事務局に入室をお願いした。

これから、社会の教科書について、専門委員会の調査、分析等をご説明いただいた上で、質問をさせていただく。教科書目録の種目に沿って、地理、歴史、公民それぞれ順番で行っていきたいと思う。社会の後に、引き続き地図について説明をお願いする。

それでは、まず地理からお願いする。

宮川専門委員

各分野の教科書の良さや特長について述べさせていただく。なお、保護者からは、教科書の分野について明記はなかったが、「帝国書院の教科書は、書き込めるところがあってよい。」とのご意見があった。

まず、地理的分野である。地理の教科書は東京書籍、教育出版、帝国書院、 日本文教出版の合計4社である。

東京書籍は、単元ごとに「探究課題」が設定され、1時間の授業の「学習課題」を基に考察できるようになっている。単元のまとめでは、1時間の授業で学んだことを基にまとめることができ、まとめのページの「探究のステップでふり返ろう」や思考ツールを使うことで単元のまとめがしやすいように工夫されている。以上のように単元の導入からまとめまでが一連の流れで構造化されており、生徒も思考の流れが作りやすく、教員にとっても授業作りがしやすい点が優れている。思考力等の育成については、まとめのページの「みんなでチャレンジ」のコーナーにおいて、グループでの活動を行う機会を設け、協働的な学習として説明や議論を通して思考力が高まるように工夫されていた。

教育出版は、「地理の窓」のコーナーで生徒の興味・関心を広げ、学習したことを振り返ることにより知識が定着できるようになっていた。「地理の技」のコーナーでは、資料の読み取りなど地理の基本的な技術が身につくようになっていた。思考力等の育成については、1時間の授業の最後に「表現!」のコーナーを設け、学習したことを活用して、まとめたり話し合ったりでき

るようにしていた。

帝国書院は、各単元に課題が設定され、導入からまとめまでの流れがわかりやすく構成されていた。「確認しよう」では、知識の定着と資料の読み取り技能の向上を図るようになっていた。思考力等の育成については、1時間の授業のまとめとして活用できる「説明しよう」が用意されていたり、節の振り返りでは思考ツールを使ったりして自分の考えをまとめやすくなっていた。

日本文教出版は、1単位時間のページに「学習課題」が示され、それに関連した「見方・考え方」がわかりやすく示されている。また、各ページにQRコードがあり、ICTの活用も平易にできるようになっていた。思考力等の育成については、「表現」のコーナーが設けられており、自分の言葉を使ってまとめることができるようになっていた。節のまとめで「議論してみよう」のコーナーがあり、自分の考えを表現することもできるようになっていた。

また、学校報告書では、東京書籍について、「生徒が学習の見通しを持ちやすく単元ごとの振り返りが充実している、資料が大きく見やすい」などの意見があり、他社の教科書より高い評価を得ていた。さらに、東京書籍に迫る教科書として、帝国書院が挙げられており、「思考ツールが教科書の最初に書かれており、思考力・表現力の育成につながる。振り返りの部分が、個人やグループでも活用しやすく工夫されている。」といった意見があった。

以上で地理的分野の説明を終わる。

井上教育長ただいまの報告について、質疑を行う。何か質問はあるか。

中田委員 社会科においては、国語のように、全国学力・学習状況調査、あるいは埼 玉県学力・学習状況調査がないが、川口市の生徒の課題について、お聞かせ いただきたい。地理だけでなく、社会科全般の課題でも構わない。

宮川専門委員 学習指導要領解説には「主体的に社会の形成に参画しようとする態度や、 資料から読み取った情報を基にして社会的事象の特色や意味などについて 比較したり関連付けたり多面的・多角的に考察したりして表現する力の育成 が不十分である」ことが指摘されている。川口市の生徒も、同様のことが言 えると考えている。

齋藤委員 専門委員から見た、川口市の社会科の教員の特徴や実態などをお聞かせい ただきたい。

宮川専門委員 川口市の教員の実態として40歳未満の社会科教員が多いことが挙げられる。そのため、40歳未満の社会科の教員でも指導しやすいという視点で、 学習指導要領の着実な実施が可能な教科書はどれかと検討した。

齋藤委員 事務局に伺う。川口市の教員の実態として、40歳未満の社会科教員が多いとのことだが、具体的に40歳未満の社会科教員の割合はどの程度か。

指導課長 令和6年度の40歳未満の社会科教員の割合は、臨時的任用教員や再任用

教員を含めた全教員のうち70パーセントを超えている。また、本採用の教員のみでは75パーセントを超える。経験年数についても、平均で9年程度と経験が少ない教員が多くなっている現状である。

菅原委員

他の委員からの質問を聞いている中で、それぞれ教員の実態と川口市の生徒の実態があった。そのような川口市の現状を踏まえて、ここは重要なポイントだと思うが、専門委員から学習指導要領の着実な実施が可能な教科書を選ぶというお話があった。その視点では、どのような教科書であれば学習指導要領の着実な実施が実現可能と考えているか。

宮川専門委員

学習指導要領では、育成を目指す資質・能力が明確化され、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進が示された。さらに、主体的・対話的で深い学びの実現のために社会的な見方・考え方が整理された。先程申し上げたとおり、川口市では若手の教員が多く、その教員が、育成を目指す資質・能力が明確である授業や主体的・対話的で深い学びを実現するための社会的な見方・考え方が働く授業をつくることができる教科書であることが重要であると考えている。また、令和3年度の中教審の答申にある令和の日本型学校教育の中で示された個別最適な学びと協働的学びを一体的に充実させることができる授業をつくることができる教科書であることも必要であると考える。

菅原委員

たしかに主体的・対話的で深い学びが重要だと思う。それを社会科で実現するためには、社会的な見方・考え方が働くことが必要だと専門委員から説明があったが、どのような授業を展開することで主体的・対話的で深い学びが実現されると考えているか。実際に授業を行うことを考えてお聞かせいただきたい。

宮川専門委員

埼玉県教育委員会が「主体的・対話的で深い学びの実現 6則」を提示している。その中で、主体的な学びを「学習活動を見通し、振り返り、課題を解決していこうとすること」、対話的な学びを「学び合い等、他者と協働すること等によって、自己の考えを広げ深めること」、深い学びを「見方・考え方を働かせて、より深く理解したり考えを形成したりすること」と示した。これらの活動が行われる授業が展開されれば、主体的・対話的で深い学びを実現できると考えている。

小野寺委員

私からは、教科書の内容について伺いたい。昨年の12月に川口市の条例として「川口市拉致被害者等の早期帰郷を望む条例」ができた。本市固有の課題として、拉致被害者に関わる問題がある。社会科の教科書において拉致問題はどのように扱われているか、説明をお願いしたい。

宮川専門委員

拉致問題については、中学校学習指導要領解説社会編の歴史的分野において、国際社会との関わりの中で諸課題の一つとして、「それらを解決するための様々な人々の努力が重ねられていることに気付くことができるようにすること」とされている。また、公民的分野では、国家主権に関連して、「課

題を的確に捉え、我が国がその解決に向けて、国際社会の明確な理解と支持を受けて努力していることを理解できるようにする」と示されている。そのような視点から、具体的には、歴史的分野において、東京書籍、教育出版、帝国書院、山川出版社、日本文教出版、自由社、育鵬社、令和書籍で取り扱われていた。公民的分野においては、全社で取り扱われていた。特に自由社と育鵬社については、公民の教科書に特集ページを設け、自由社は更に歴史の教科書にもコラムを設け、取り扱っていた。

中田委員 地理の教科書について伺いたい。「社会的な見方・考え方」を先程お話があったように働かせる授業を行うために、特徴的に取り扱っている教科書について、お聞かせいただきたい。

宮川専門委員 地理的分野の「社会的な見方・考え方」については、「社会的事象の地理的な見方・考え方」としてまとめられ、「社会的事象を、位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で、人間の営みと関連付けること」と整理されている。全ての教科書が「社会的事象の地理的な見方・考え方」の説明を入れている。特に東京書籍や日本文教出版では、教科書の該当ページに「見方・考え方」がわかるようにマークが示されている。

中田委員 先ほど川口市の生徒の課題について説明いただいたが、地理の教科書において、川口市の生徒の課題が改善される教科書はどのようなものか教えていただきたい。

宮川専門委員 主体的に社会の形成に参画しようとするために、よりよい社会の実現に向けて日本や世界で見られる課題を主体的に考えることができる教科書が望ましいと考えている。社会科ではよりよい社会の実現に向けてSDGsが取り扱われている。すべての教科書において、章の導入やまとめやコラムなどでSDGsを示したり、関連付けたりするなどして、よりよい社会の実現に向けて考えることができるように工夫されていた。

管原委員 実際に教える教員の年齢構成について先ほどお答えいただいた。40歳未満の教員が多く、中には臨時的任用の教員もいる中で、地理的分野において、そういった経験の浅い、若手も含めた教員も指導しやすい特徴をもつ教科書があるかお聞かせいただきたい。

宮川専門委員 若手の教員にとって指導しやすい教科書はどのような教科書かを議論していく中で、授業の導入やまとめが明確になっており、導入からまとめまでの流れがわかりやすい教科書であると考えている。その点で、どの教科書も章・節・授業1時間のそれぞれの単位で課題が設定されており、まとめのページにおいて今まで学習してきたことを効果的に確認することができるよう工夫されている。中でも東京書籍と教育出版は、1時間の授業を振り返りながら節のまとめができるように工夫されていた。東京書籍では「みんなでチャレンジ」のコーナーを設け、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に

充実させることができるよう工夫されており、若手の教員も使いやすい作り になっていた。

齋藤委員

ICT端末が本格的に導入されていると思うが、具体的にICTの活用ということを考えた教科書の特徴があれば教えていただきたい。

宮川専門委員

ICTの活用の視点からいうと、教科書の授業内容に合ったデジタルコンテンツが作成されていると授業で効果的に活用できると考えている。QRコードが各教科書に提示されているが、その比較も行ったところ、特に、東京書籍と日本文教出版においてQRコードの数が豊富で、1単位時間に1つ、QRコードを必ず配置していた。東京書籍では、巻末にQRコードの内容や説明を入れており、初めてQRコードを活用する教員が、その説明を読むことで事前にイメージしやすい作りになっている。

井上教育長 学校報告では、東京書籍と帝国書院の評価が高いようだが、どのような点が評価されているのか。

宮川専門委員

東京書籍は、写真などの資料が見やすく配置され、資料を基に生徒に考えさせていく授業展開につなげやすいことが挙げられていた。帝国書院は、地理という分野の特徴でもあるが、地図の美しさや資料の豊富さについて、触れられていた。

井上教育長

他にご質問はあるか。無いようなので、地理に関する質疑を終了し、続いて、歴史について調査報告をお願いする。

宮川専門委員

歴史的分野について報告する。歴史の教科書は東京書籍、教育出版、帝国書院、山川出版社、日本文教出版、自由社、育鵬社、学び舎、令和書籍の合計9社である。

東京書籍は 各章に「探究課題」が設定され、各節に「探究のステップ」が設定されており、「探究課題」の設定から解決に至るまでの流れが構造化されている。まとめのページにおいても各節の学習内容が整理されており、「探究のステップ」がまとめに活かされるよう工夫されている点が、優れていた。また、「スキル・アップ」のコーナーでは、歴史的分野の学習に必要な技能を習得できるよう工夫されている。思考力等の育成については、「みんなでチャレンジ」のコーナーがあり、グループでの活動を行う機会を設け、協働的な学習として説明や議論を通して思考力が高まるように工夫されていた。QRコードを使って動画視聴や歴史的資料の拡大をすることができるなど、デジタルコンテンツもとても充実していた。

教育出版は、章や節に「問い」が設定され、単元の見通しが持てるように工夫されていた。1単位時間の最後に「確認」「表現」のコーナーで学習内容のまとめや成果がわかるように工夫されていた。また、「歴史の技」のコーナーで、歴史学習では欠かせない情報活用の技能を身に付けられるよう工夫されていた。思考力等の育成については、単元の振り返りのページに、「HOP!」「STEP!」「JUMP!」のコーナーを設定し、多面的・多角的

に考察する学習活動が行えるよう工夫されていた。

帝国書院は、章や節に「問い」が設定されており、単元の見通しがもてるようになっていた。「タイムトラベル」のイラストで各時代のイメージがもてるように工夫されており、「学習を振り返ろう」のコーナーで章の活動を振り返ることができるようになっていた。思考力等の育成については、「アクティブ歴史」のコーナーで、課題に粘り強く向き合う姿勢や他者との意見交換を通して合意形成を目指す態度を身に付けられるようになっていた。思考力等の育成については、「説明しよう」が1時間の最後に設けられており、自分の言葉で表現できるように工夫されていた。

山川出版社は、本文の記述内容が充実しており、語句も豊富で、高校の歴 史学習への接続がスムーズになるように工夫されていた。また、各章の導入 には日本と世界の動きを比較した年表が設けられており、各時代の特色を捉 えやすくなっていた。思考力等の育成については、1単位時間の最後に「ス テップアップ」のコーナーがあり、歴史的事象の意味や意義について考察で きるよう工夫されていた。

日本文教出版は、1単位時間ごとに「学習課題」が示され、それに関連した「見方・考え方」がわかりやすく示されている。また、各ページにQRコードがあり、ICTの活用もできるようになっていた。思考力等の育成については、編や章の導入に「トライ」のコーナーがあり、話し合う活動が設けられていることで、協働的な学習につながるようになっていた。また、1単位時間の最後に「表現」のコーナーがあり、1時間で学習したことを説明できるようになっていた。

自由社は、教科書の導入において日本の歴史から取り扱われたり、他社の 教科書には掲載されていない歴史上の人物が取り扱われたりしていた。また、 資料についても、他社の教科書には見られない資料が豊富に使用されていた。 思考力等の育成については、1単位時間の最後に「チャレンジ」のコーナー があり、学んだことの説明ができるようになっていた。

育鵬社は、章の導入で「鳥の目で見る○○」「虫の目で見る○○」のコーナーを設け、時代の大まかな流れを捉えるとともに、イメージがつきやすいように工夫されている。思考力等の育成については、1単位時間の最後に「探究」のコーナーが設けられ、自分の言葉で学習内容を表現できるようになっていた。また、章末には「学習のまとめ」があり、協働的な学習につながるように工夫されていた。

学び舎は、他社と異なりA4版サイズを採用し、他社よりも教科書のサイズが大きくなっていた。章の扉ページでは、北極から見た世界地図を設け、世界の歴史を背景に、その時代の特色を学ぶことができるようになっていた。思考力等の育成については、「歴史を体験する」のコーナーで、体験的な学習活動を進めながら、思考力等を高められるようになっていた。

令和書籍は、他社と異なり A 5 版サイズを採用し、他社よりも教科書のサイズが小さくなっていた。章の導入で「政治」「外交」「文化」「産業」の視点で課題が設定され、各時代の特色について理解を深められるようになっていた。思考力等の育成については、章のまとめのページで課題について自分の言葉でまとめるようになっていた。

また、学校報告書では、東京書籍について、単元を貫く課題が追究しやすい工夫がある、文章量と資料のバランスが取れている、QRコードが充実しているなどの意見があり、他社の教科書より高い評価を得ていた。さらに、東京書籍に迫る教科書として、帝国書院が挙げられており、「章の導入の『タイムトラベル』が秀逸である。時代間の比較がしやすい。」といった意見があった。

以上で歴史的分野の説明を終わる。

井上教育長

ただいまの報告について、質疑を行う。何か質問はあるか。

小野寺委員

歴史を学習する上で、その時代に合った勉強の仕方、あるいは状況の掴み 方があると思うのだが、歴史的分野の「社会的な見方・考え方」を働かせる ために、川口市の生徒に適した特徴をもっている教科書について、お聞かせ いただきたい。

宮川専門委員

歴史的分野の「社会的な見方・考え方」については、「社会的事象の歴史的な見方・考え方」とまとめられ、「社会的事象を、時期や推移などに着目して捉え、類似や差異などを明確にし、事象同士を因果関係などで関連付けすること」と整理されている。東京書籍・教育出版・帝国書院・日本文教出版・育鵬社が巻頭において「社会的事象の歴史的な見方・考え方」に関する説明を掲載している。中でも東京書籍と日本文教出版では、1単位時間の該当ページに「見方・考え方」を示していた。

小野寺委員

川口市の生徒の課題について伺う。歴史の教科書において、最初に述べられていた川口市の生徒の課題を改善するために適した教科書についてお聞かせいただきたい。

宮川専門委員

川口市の生徒の課題を考慮すると、よりよい社会の実現や、様々な資料から多面的・多角的に考察することができる教科書が、望ましいと考えている。 東京書籍では持続可能な社会、帝国書院、日本文教出版はSDGsについて 説明するページが巻頭にあり、より良い社会の実現に向けた視点をもつこと ができるようになっている。

菅原委員

地理でも伺ったが、今、小野寺委員から川口市の生徒の課題を改善するために適した教科書という視点で質問があったが、私は、若手の教員、経験の浅い教員にとって、どのような歴史の教科書が指導しやすいのかお聞かせいただきたい。

宮川専門委員

本市の若手教員にとって指導しやすい教科書は、先ほどと共通点は多いの だが、授業の導入やまとめが明確になっており、さらに、導入からまとめま での流れがわかりやすい教科書であると考えている。その点を考慮すると、 東京書籍・教育出版・帝国書院・日本文教出版・育鵬社の教科書は、章もし くは編、節、授業1時間の課題が、それぞれに設定されている。また、東京 書籍・教育出版・帝国書院・山川出版社・日本文教出版・自由社・育鵬社・ 学び舎は、章のまとめのページが用意されており、章で学んだことを効果的 にまとめることができるよう工夫されている。特に東京書籍では、章の中の 節にまとめのページが設定されており、節のまとめを活かして章のまとめが できるよう工夫されていた。

中田委員

歴史の教科書では、歴史上の人物や文化遺産などが多くあると思うが、そ の資料の取り扱いはどのようになっているか。

宮川専門委員

各社とも、多くの歴史上の人物や文化遺産を紹介している。また、教科書で紹介されている遺産については、世界遺産や国宝などのマークを付けて、一目で分かるように表記されていた。中でも東京書籍は世界遺産、国宝、重要文化財、世界の記憶、無形文化遺産の5つのマークを付けて明確に分かりやすくしていた。

中田委員

他に気になったこととして、歴史の教科書におけるICTの活用について、 どのような教科書が適しているか。

宮川専門委員

ICT活用の視点から申し上げると、教科書の単元に合ったデジタルコンテンツがあるとよいという点は地理と同じである。QRコードの数を比較すると東京書籍と日本文教出版の数が豊富であった。東京書籍では、動画資料や歴史的な資料を拡大できるコンテンツを用意しており、巻末にQRコードの内容や説明を入れるなど、初めて活用する教員も使いやすい作りになっていた。一方で、日本文教出版は「イントロダクションムービー」を用意し、節の問いの解決に見通しを持つことができるように工夫されていた。

齋藤委員

学習指導要領について伺う。歴史の目標の中に、「我が国の歴史に対する愛情」という言葉があるが、この観点から、どのような教科書が適しているのか教えていただきたい。

宮川専門委員

「我が国の歴史に対する愛情」は、「多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される」と学習指導要領に示されている。このことから多面的・多角的な考察や深い理解が重要となる。すべての教科書で日本の歴史を中心として扱い、世界の歴史については我が国の時代背景として取り上げていた。また、コラムやまとめのページで、多面的・多角的に考察できるように工夫されている教科書があった。例えば、山川出版の100・101ページをご覧いただきたい。中世の日本を取り扱ったまとめのページであり、武士・農民・守護・荘園領主など様々な立場から多角的に考えをまとめることができるよう、工夫されていた。併せて、東京書籍の137ページをご覧いただきたい。「もっと知りたい」のコラムで渋染め一揆を扱うことで、差別されていた人たちの思いを描いて多面的・多角的に考察できるような工夫がされて

いる。

井上教育長 学校の報告書について、地理と同様に東京書籍、帝国書院の順に評価が高 い様だが、どのような点が評価されているのか。

宮川専門委員 東京書籍では、これまで申し上げた、各節ごとにまとめが工夫されており、 評価されている。また、年表がページの右端にレイアウトされていることに ついて、わかりやすいとの所見が見られた。帝国書院は、見開きによる「タ イムトラベル」という学習する時代の様子がわかるイラストについて、イラ ストによる視覚的な効果が評価されていた。

井上教育長 他にご質問はあるか。無いようなので、歴史に関する質疑を終了し、続いて、公民について調査報告をお願いする。

宮川専門委員 続いて公民的分野について報告する。公民の教科書は東京書籍、教育出版、 帝国書院、日本文教出版、自由社、育鵬社の6社である。

東京書籍は、各章に「探究課題」が設定され、「探究課題」の解決に向けて各節に「探究のステップ」が設定されており、「探究課題」の設定から解決に至るまでの流れが構造化されている。まとめのページにおいても各節で学んだことが整理されており、「探究のステップ」がまとめに生かされるよう工夫されている点が優れていた。思考力等の育成については、章のまとめで思考ツールが示されており、思考がまとめやすくなっている。また、「みんなでチャレンジ」のコーナーでグループでの活動を行う機会を設け、説明や議論を通して思考力が高まるように工夫されていた。主権者教育の観点から、「18歳へのステップ」で生徒の興味関心を高める身近な具体的な内容を取り上げ、生徒が主体的に社会参画をしていこうとする態度を養うことができるよう工夫されている。

教育出版は、単元ごとに導入からまとめまでの流れが整理されており、章のまとめでも順序だてて考察できるよう工夫がされていた。思考力等の育成については、単元のまとめで、思考ツールなどを活用して自身の言葉でまとめ、考えを整理するようになっている。考えを整理するための順序も記されており、話合いもスムーズにできるようになっていた。

帝国書院は、章の導入において、見開きのイラストを活用して生徒の興味・ 関心を高め、イメージをもたせる工夫をしている。章や節に「問い」が設定 されており、単元の見通しが持てるようになっていた。思考力等の育成につ いては、「アクティブ公民」において、他者と意見交換をしながら具体的な テーマについて考えることができるようになっている。また、「未来に向け て」のコーナーで現代社会の課題に主体的に関わることができるようになっ ていた。

日本文教出版は、1時間ごとに「学習課題」が示され、それに関連した「見方・考え方」がわかりやすく示されていた。また、各ページにQRコードがあり、ICTも活用しやすくなっていた。思考力等の育成については、「ア

クティビティ」のコーナーが設けられ、資料から読み取ったことをまとめたり、話し合ったりする活動ができるようになっていた。「明日に向かって」「チャレンジ公民」のコーナーで主体的に社会参画できるよう工夫されていた。

自由社は、1時間ごとに課題が設定されており、「ここがポイント」として 課題解決に向けてのヒントが示されている。「もっと知りたい」のコーナー では、重要な事柄を深く理解するために様々な視点から考えられる工夫がさ れていた。思考力等の育成については、章末の「学習のまとめと発展」にお いて、書く力やまとめる力の育成を図ることができるようになっている。

育鵬社は、学習の流れが、各章のはじめに「○○の入り口」が設定され、「学習内容」、章末の「○○のこれから」という流れとなっており、学習活動の流れがわかりやすくなっていた。思考力等の育成については、「やってみよう」のコーナーで、個人や班で取り組める作業や活動が設定され、自分で考えたことを表現できるようになっていた。

また、学校報告書では、東京書籍について、「学びの流れがスムーズで主体的・対話的で深い学びの実現につながる。身近な事象を取り扱っているため生徒が主体的に学ぶ授業につなげやすい」などの理由から他社の教科書より高い評価を得ていた。さらに、東京書籍に迫る教科書として、帝国書院が挙げられており、「単元を通して課題を立てやすい。」といった意見があった。以上で公民的分野の説明を終わる。

井上教育長

ただいまの報告について、質疑を行う。何か質問はあるか。

齋藤委員

地理・歴史でも伺ったが、公民の場合は、「社会的な見方・考え方」を川口市の生徒がよりよく働かせるために、適した特徴をもった教科書があれば教えてほしい。

宮川専門委員

公民的分野の「社会的な見方・考え方」については、「現代社会の見方・考え方」とまとめられ、「社会的事象を、政治、法、経済などに関わる多様な視点に着目して捉え、よりよい社会の構築に向けて、課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などと関連付けること」と整理されている。そのような視点でいうと、東京書籍・教育出版・帝国書院・日本文教出版・育鵬社が巻頭や単元において「現代社会の見方・考え方」を取り上げている。中でも東京書籍と日本文教出版は、1時間の授業で取り扱えるよう教科書の該当ページに「見方・考え方」を示していた。

齋藤委員

地理・歴史と同様に、川口市の生徒の課題について伺う。公民の教科書においても、川口市の生徒の実情を踏まえた上で、課題を改善するために適した教科書について、お考えを聞かせていただきたい。

宮川専門委員

地理・歴史と同様に川口市の生徒にとって、よりよい社会の実現や様々な 資料から多面的・多角的に考察できる教科書が望ましいと考えている。その 視点からは、すべての教科書において、よりよい社会の実現に向けてSDG sと結び付け、巻末でまとめられるようにしていた。東京書籍、教育出版、 帝国書院、日本文教出版、育鵬社でコラムや特集ページを作り、生徒がよりよい社会の実現に向けて考察できるようにしていた。

中田委員 宮川専門委員

若い教員にとって、どのような公民の教科書が指導しやすいと言えるのか。 公民においても、授業の導入とまとめが明確になっており、導入からまと めまでの流れがわかりやすい教科書が指導しやすい教科書であると考えて いる。また、公民については、地理・歴史との関連が出てくため、その関連 についてわかりやすいものが望ましいと考えている。その視点から、東京書 籍・教育出版・帝国書院・日本文教出版・育鵬社では、章・節・1時間の課 題がそれぞれ設定されている。各節で学んだことを基に章のまとめができる よう工夫されている。特に、東京書籍では、節のまとめを活かして章のまと めができるよう工夫されていること。さらに、東京書籍・教育出版・帝国書 院・日本文教出版・育鵬社では、先ほど申し上げた地理・歴史との関連を明 確に示していた。

中田委員

ICTの活用について伺いたい。公民の教科書においても、ICTの視点からは、各教科書にどのような特徴があるか。

宮川専門委員

公民分野のICT活用についても、教科書の単元に合ったデジタルコンテンツが有効であると考えている。東京書籍・教育出版・帝国書院・日本文教出版・育鵬社の5社でQRコードを採用していた。QRコードの数を比較すると東京書籍と日本文教出版の数が豊富であった。東京書籍では、1単位時間に1つQRコードを配置しており、何が活用できるか文字で示すなど、授業で活用しやすい工夫がなされていた。

井上教育長

公民の目標に「現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う」とあるが、現代社会に見られる課題については、 どのように取り扱いがなされているか。

宮川専門委員

現代社会に見られる様々な課題を生徒が考察することは、主体的に社会に関わろうとする態度を養うために大切なことだと考えている。その視点からは、すべての教科書が、コラムやコーナーなどの形で現代社会に見られる様々な課題を取り扱っていた。すべての教科書で、単元との関わりの中で適切に学習できるような形になっており、主体的に社会に関わろうとする態度を養うことができるようになっていた。

小野寺委員

現代社会での大きな変化として、成人年齢が18歳に引き下げられたことで、主権者教育がより一層重要だと考える。主権者教育について、公民の教科書でどのように取り扱われているか、教えていただきたい。

宮川専門委員

学習指導要領解説の中に主権者教育については、「引き続き社会科の学習において重要な位置を占めており、現実の社会的事象を扱うことのできる社会科ならではの『主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度の育成』が必要」と示されている。この点においても、すべての教科書に

おいて、主権者教育が実施できるよう工夫されていた。中でも、東京書籍では「18歳へのステップ」、帝国書院「アクティブ公民」が、主権者教育を行う際に、有効だと考える。

管原委員 学校の報告書では、公民でも東京書籍の評価が非常に高いが、具体的にど のような点が評価されているとお考えか。

宮川専門委員 東京書籍は、図や資料の見やすさや、模擬裁判等の生徒の活動が盛り込まれていることを評価する学校所見が見られた。

井上教育長 他にご質問はあるか。無いようなので、公民に関する質疑を終了し、最後 に地図について調査報告をお願いする。

宮川専門委員 続いて地図について報告する。地図は東京書籍、帝国書院の2社である。 東京書籍は、巻頭に地図の凡例や見方、使い方、主題図のタイトルや縮尺、 色分けの読み取り方などが記載され、詳しく説明されていた。自然や産業に 関する主題図が掲載されているため、基本的な情報について読み取る力が身 に付けられるようになっている。また、「Bee's eye」と題した問 いを設定し、地図資料を読み取る上での視点が示されていた。

帝国書院は、巻頭に地図帳の基本的な見方・使い方がわかりやすく解説された「この地図帳の凡例」「この地図帳の使い方」が設けられている。要所に「地図で発見」のコーナーが設定され、社会的事象を多面的・多角的に考える学習活動を行うための工夫がされている。世界各州の鳥瞰図では、地形や自然環境、生活・文化、歴史、産業など、さまざまな情報を視覚的に読み取ることができるようになっていた。基本図は高さの表現に陰影を合わせた立体感のある地図表現であり、高さの表現の色分けは多くないが高さが際立つように工夫されている。

また、学校報告書では、帝国書院について、「現代的な課題を考えることができる。資料が豊富で使いやすい。」などの理由から高い評価を得ていた。さらに、東京書籍は、「解説ページや写真が充実しており、地図を活用した学習に最適である。」といった意見があった。

以上で、地図の説明を終わる。

井上教育長 ただいまの報告について、質疑を行う。何か質問はあるか。

菅原委員 地図帳を選ぶ際に、最も重視した点はどこか教えていただきたい。

宮川専門委員 地図については、地理だけでなく、歴史や公民でも活用できるものが望ま しいと考えている。そのため、配色やイラスト等の地図の見やすさはもちろ ん重要だが、主題図などあらゆる分野での活用のしやすさを重視した。

中田委員 地図の見やすさはそのとおりだと思うが、主題図などを重視したということについて説明をしてほしい。

宮川専門委員 地図の配色などの見やすさについて一例をあげると、帝国書院の地図は、標高の色分けが少ないが、色のコントラストにより標高の高さがわかりやすくなっている。帝国書院の53・54ページをお開きいただきたい。いわゆ

る鳥瞰図だが、調査員からは、鳥観図が見やすく、生徒の興味を引くような つくりであるとの意見があった。また、主題図同士で比較する際に見やすく なるよう地図の縮尺を同じにするなどの工夫が2社ともに見られた。

小野寺委員 地図であるので地理で活用できるのはわかるが、その他に歴史や公民での 地図の活用については、何か配慮がされているのか教えていただきたい。

宮川専門委員 2社とも地図の中に、歴史上の出来事があった場所に歴史上の出来事を示すなど工夫をしている。また調査員からは、SDGsとの関連を示すマークが入っているなど公民でも活用しやすいのではないかとの意見が出た。

井上教育長 デジタルコンテンツの工夫について説明いただきたい。

宮川専門委員 2社ともQRコードの掲載があった。QRコードの数はそれほど多くないが、東京書籍では「デジタル地球儀」を見ることができることや、帝国書院では「地域見える化GISジオグラフ」という地図上に棒グラフが表れ人口分布などが可視化できるものがある等、コンテンツが充実していた。

齋藤委員 学校評価では、ここまでの地理・歴史・公民すべてにおいて、東京書籍と 帝国書院が高く評価されている。地図に関しては帝国書院の方が評価が高い ようだが、どのようなところが評価されているのか。

宮川専門委員 東京書籍と帝国書院どちらも見やすいとの評価だが、帝国書院についてグラフや図といった資料の豊富さなどから、他分野や他領域、SDGsに関する取組で活用しやすいのではという所見が多く見られた。

井上教育長 他にご質問はあるか。無いようなので、これで地図に関する質疑を終了し、 社会の地理・歴史・公民及び地図の教科書を決定していきたいと思う。まず、 地理について採択すべきであると考える教科書を1社挙げ、その理由につい てもお願いしたい。

中田委員 私は、東京書籍を推薦する。川口市の現状を踏まえ、若い教員でも導入し やすく学びやすいという面がある。また、デジタルコンテンツの面でも、東 京書籍を推薦したい。

小野寺委員 私は、東京書籍がよいと思う。全体的にバランスがとれている。また、学 習課題と振り返りの課題が分かりやすく設定されている。これは、生徒と指 導者にとって非常に取り組みやすい教科書になっていると考える。

で原委員 様々な視点から考え、私も東京書籍がよいと思った。より深い学びにつな がる授業になる流れとなっていると考えたことが理由である。

齋藤委員 東京書籍がよいと考える。写真や資料のレイアウトが、教える方も教わる 方も入ってきやすい印象をもった。興味をもってもらうにあたり、どの教科 もそうだが、見やすさは大事だと思うので、地理に関して、東京書籍を推し たい。

井上教育長続いて歴史について、お願いする。

中田委員 歴史についても、東京書籍を推薦する。「探究のステップ」など、各ステップが分かりやすく、まとめのページも、うまくまとめていると思った。この

ことから、東京書籍を推薦する。

小野寺委員

私も、東京書籍がよいと思う。資料と文章のバランスが非常によかったこと、さらに、授業展開も考えやすくなっているのではないかと思う。学習課題の設定から解決までの流れを「問い」という形で導いて、次の探究のステップでスムーズに学習課題を解決できるよう工夫されていると思う。生徒と指導者にとって、取り組みやすい教科書となっているのではないか。

菅原委員

私も東京書籍である。学校報告書を見て、単元を貫く課題が追究しやすい 工夫がされていることや、各時代の導入に小学校の振り返りを設定している ことなど、生徒が学習に見通しをもって臨める授業になるのではと考え、東 京書籍を挙げたいと思う。

齋藤委員

私も東京書籍を推薦したい。時代の流れを重要視しており、年表等で流れ を把握しやすい。また、細かく、小さなまとめ、中ぐらいのまとめ、大きな まとめと、まとめ方で流れをつくっている。教員も、生徒も分かりやすいの ではないかと思うことから、東京書籍がよいと考える。

井上教育長

続いて公民について、お願いする。

中田委員

東京書籍を推薦したい。各社それぞれ工夫があるが、「18才のステップ」など主権者教育について、コーナーで取り上げている2社があったが、東京書籍の「18才のステップ」がよかったため推薦したい。

小野寺委員

私も、東京書籍がよいと思う。学習課題が明確に示されていて、単元を貫く課題を追求しやすいように工夫されている。また、語句や資料がバランスよく取り上げられていて、その事例も身近で分かりやすい。生徒と指導者にとって取り組みやすい教科書となっていると思う。

菅原委員

東京書籍を挙げたいと思う。身近な生活をテーマにした導入の活動や、資料の読み取り方、収集方法を紹介する「スキル・アップ」と、それを活用する活動コーナーが丁寧に設定されていることからも、東京書籍がよいと考える。

齋藤委員

私も東京書籍を推したいと思う。地理、歴史の時も申し上げたが、資料の レイアウトが分かりやすい。見やすさは重要であり、興味にもつながる。地 理、歴史とほぼ同じ理由だが、東京書籍を推したい。

井上教育長

小野寺委員

続いて地図について、お願いする。

中田委員

色使いなど、見た際にとても見やすかったため、帝国書院を推薦したい。 私も、帝国書院がよいと思う。まず、地図の使い方が巻頭にあり、巻末に は索引や統計資料があって、地図の活用の基本的な事項が習得しやすいよう 工夫されていると思う。また、関係資料も豊富にあり、生徒にとって使いや すい地図となっていると思う。

菅原委員

帝国書院を挙げたいと思う。等高線の表現の工夫で非常に立体感のある地図帳となっている点が理由の一つである。また、SDGsの特設ページが新設された点もよいと考えた。

齋藤委員

地理、歴史、公民と3つとも東京書籍を推薦しているが、地図も同様に記号や記載方法などが同じなため、同じ流れで理解しやすいのではないかと考えること。また、前回の地図よりも様々な点で工夫し改善しているような印象も受けたことから、私は東京書籍を推薦したい。

井上教育長

私は、地理、歴史、公民とも各委員と同じように東京書籍がよいと思う。 また、地図についても、帝国書院が適していると考えた。

まず、東京書籍のそれぞれの教科書だが、知識を覚えることに偏らず、生徒の社会的な見方・考え方を働かせるような工夫が随所に見られる。そのため、思考力・判断力・表現力を高めるのに適した教科書だと感じた。また、歴史を中心にだが、中立的で客観的な事実を表記していることで、外国籍の生徒が多い本市にとっても、多文化共生という視点からも好ましいのではないかと考えた。

これまでの協議の内容や各委員のご意見から、地理は東京書籍、歴史も東京書籍、公民も東京書籍、地図については帝国書院を推す声が多いようだが、帝国書院を採択することに決定してよいか。

委員

(異議なし)

井上教育長

以上で社会・地図について、協議を終了する。専門委員と事務局は退室を。 ここで暫時休憩とする。10分程度。

(社会・地図専門委員・事務局 退室)

井上教育長

再開する。次に数学の専門委員・事務局の入室を求める。

(数学専門委員・事務局 入室)

専門委員会として、各学校からの報告書並びに調査員からの報告書等の意見を十分汲み取って検討されてきたと思うが、教育委員会としても学習指導要領の趣旨に則り、「生徒にとって学びやすく、教員にとって指導しやすい」という観点で、よりよい教科書を選んでいきたいと考える。そこで、専門委員・事務局に入室をお願いした。

これから、数学の教科書について、専門委員会の調査、分析等をご説明いただいた上で、質問をさせていただく。それではお願いする。

岸田専門委員

中学校数学について、各分野の教科書の良さや特徴について述べる。

東京書籍は、必ず身に付けてほしい基本的な問題にハートマーク、少し難しい問題に星マークがついており、問題の重要性が明確に示されていて、習熟度に応じて学習できる。例の解説が丁寧に書かれていて見やすく、生徒が理解しやすくなるように工夫されている。節ごとに基本の問題があり、問題数が豊富なため、問題を解きながら基礎・基本の定着をさせやすいと言える。また、QRコードの数が特に多く、埼玉県に特化した資料などがあり、生徒の興味・関心を引きやすいものと言える。学校の報告書では、「導入で新たな知識・技能を習得するための問いが工夫されている」「基礎的な学習の定

着が図れるよう、適度な問題数がある」などの意見があった。保護者の意見では、「図形の付録がよい」という意見があった。

次に大日本図書は、章のはじめに、生徒が新しい学習への興味・関心が持てるように、問題発見から問題解決までの流れが示されている。学習内容ごとに「めあて」が明確に記されている。「伝えよう」というコーナーでは、数学のことばや図を使って考えを伝える場面が設定されており、生徒の対話を中心に授業を展開しやすいことも特徴と言える。学校の報告書では、「図の色が見やすく工夫され、複数の図を同時に見比べやすくなっている」「学習のめあてがわかりやすくかいてあるので、生徒が学習しやすい」などの意見があった。保護者の意見は無かった。

次に学校図書は、1時間の授業について、「目標」が明確に示されており、 どのような学習をするのか、生徒にとってわかりやすく構成されている。問題の解き方の例が具体的にまとめられていて、生徒が自分自身で問題を解決 し、理解しやすい流れとなっている。学校の報告書では、「生徒の主体性が 高まるような問題が多い」「学習の内容、解き方、まとめの例が簡潔にまと まっている」などの意見があった。保護者の意見は無かった。

次に教育出版は、例題に類似した問題の「たしかめ」が設けられ、例題にならって問題を解くことができる。生徒の疑問から、学習が展開していく場面が設定されているため、自ら進んで学習するように構成されている。学校の報告書では、「数学的な見方・考え方とは何か具体的に解説していてわかりやすい」「例題で学んだ知識を、次のたしかめ問題ですぐに活用できる」などの意見があった。保護者の意見は無かった。

次に啓林館は、新しい語句が出てくる部分は本文の背景の色が変わっているため、一目で大切なところがわかりやすくなっている。大事なところで生徒に必要な解説をしており、学習内容がわかるように工夫されている。学習して身に付けた力を生かして問題を解決することができ、学んだことのよさを実感できるようになっている。巻末に、応用問題や入試問題が豊富にあり、生徒が発展的な問題に挑戦できることも特徴と言える。学校の報告書では、「各ページに既習事項の振り返りがあり、確認しながら学習できる」「問題の難易度が高く、生徒が粘り強く取り組むための問題がある」「生徒に考えさせる内容が多く、主体的な学習に繋がりやすい」などの意見があった。保護者の意見は無かった。

次に数研出版は、学習内容ごとに、何を学ぶかが色付けされている。その 色付けは項目として見やすくなっているため、生徒がどのような学習をして いるのかわかるように工夫されている。章末には、生活と学習の関連を図る ために「学んだことを活用しよう」が設けられており、学習の必要性をわか るようにしている。学校の報告書では、「基本を丁寧に学習でき、生徒が自 分で解きやすい問題が多い」「各章の前に既習事項を振り返るページがあり、 復習できる」などの意見があった。保護者の意見は無かった。

最後に日本文教出版は、「数学のたんけん」というコーナーでは、数学の奥深さを知る題材が取り上げられており、数学への興味・関心をひく内容となっている。数学的活動の場面が設定されており、数学のよさを実感でき学習する内容がわかりやすい。学校の報告書では、「学習のめあてとまとめが明確に示されている」「既習事項との関連について補足説明が載っているため、生徒が理解しやすい」などの意見があった。保護者の意見は無かった。

以上である。

井上教育長

ただいまの報告について、質疑を行う。何か質問はあるか。

齋藤委員

事務局に伺う。毎年県や全国の学力・学習状況調査が行われているが、近年の学力調査の結果や、学校現場の数学担当の教員から見た、川口市の数学の実態は如何か。

指導課長

令和4・5年度の全国学力・学習状況調査の平均正答率は川口市と全国を 比較するとほぼ同等である。令和4・5年度の埼玉県学力・学習状況調査の 平均正答率は川口市と県を比較すると2年間川口市が上回っている。さらに 令和4年度よりも令和5年度は、2・3年生とも、県との平均正答率の差が、 0.5ポイントずつ上がっている。特に、「数に関する計算問題」「文字式」 「方程式」「比例と反比例」についての正答率が高かった。

一方で、学校訪問や教職員研修の場において、中学校の教員から、「生徒は 自分の考えを表現することに課題がある。」という話を伺うことが多かった ことから、「思考力、判断力、表現力等の育成」に川口市の数学の課題があ ると認識している。

齋藤委員

今回、学校報告では、東京書籍、次に啓林館と大日本図書、調査員は、東京書籍と啓林館の評価が高いとのことだが、先ほどあげていただいた「自分の考えを表現すること」という課題を改善するために、今回の検定を通った2社には、どのような工夫がなされているのか。

岸田専門委員

生徒が自分の考えを表現できるようになるためには、数学の学習が、日常生活とどのように関わっているのかを具体的に示し、生徒の興味・関心を引くことが大切である。なぜならば、新しいことを見いだしたり、驚きを感じたりすることで、生徒は「なぜそのようになるのだろう」「実際確認してみたい」「人と対話して意見を交換したい」という思いをもつようになることが期待されるからである。そして、自分の考えを話す機会を増やしながら学習を続けることで、確かな理解と深い学びを実現し、課題の改善へとつながってゆくと考えられる。

その点から2社について述べると、まず東京書籍は、学習内容について日常的な問いから入ることで、生徒の疑問から学習に入ることができるようになり、生徒に主体的な学びを促し、自分の考えを表現することへつなげる工夫が見られる。

次に、啓林館は、すべての単元で「利用」の節が配置され、身に付けた知 識及び技能、思考力・判断力・表現力等を生かし、問題を解決することによ って、学んだことのよさを実感しながら、自分の考えを表現することができ るつくりになっている。

井上教育長

専門委員の回答を伺い、本市生徒の課題について、学習への入り口に工夫 を凝らしている東京書籍と、学んだことを活用することに特徴がある啓林館 の、それぞれの特色がよくわかったが、東京書籍と啓林館には、そのほかに どのような特徴や傾向があるのか。

岸田専門委員

それぞれ特徴を2点ずつ、申し上げる。

まず東京書籍の1点目は、冒頭の説明でも申し上げたが、必ず身に付けて ほしい基本的な問題にハートマーク、少し難しい問題に星のマークがついて おり、問題の重要性が明確で、生徒の習熟度に応じて学習できることである。 また2点目として、数学自由研究というコーナーでは、身近な課題があり、

レポート形式でまとめる学習をすることで、特に表現力を高められることで ある。総じて東京書籍は、基礎・基本を丁寧に扱っている傾向がある。

次に啓林館の1点目は、既習事項を活用して、新しい問題を解決できる構 成になっており、生徒が自ら課題に向き合いやすい点があげられる。

また2点目として、巻末に「力をつけよう」があり、冒頭でも申し上げた が、応用問題や入試問題を多く取り扱っているので、思考力を育むのに大変 優れている点である。つまり、啓林館は、学んだ基礎・基本をもとに、発展 的な学習へとつなげていけると分析している。

井上教育長

経験の浅い若手教員も指導しやすい特徴を持っているのはどちらの教科書

岸田専門委員

どちらの教科書もよく工夫されていて、一方を選ぶのは難しいと考える。 東京書籍は、小学校や前の学年の振り返りが丁寧に扱われており、導入に おいても、生徒の気づきを引き出す工夫がなされている。

啓林館は、学習のねらいと流れがわかりやすく、シンプルに進められる構 成になっており、学習すべき内容をより明確にとらえられるよう工夫されて いる。

小野寺委員

答えていただいた特徴を踏まえた上で、採択にあたり重視するべき点は。 岸田専門委員 ポイントは大きく3点ある。

> まず1点目は、学習内容について、日常生活との関わりが示されており、 生徒の興味・関心を引くことができるかという点である。

2点目は、幅広い生徒のニーズに対応しており、基礎・基本の定着を図る ことと、発展的な考え方を身に付けることの双方を備えているかという点で ある。

最後に3点目は、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、 数学の楽しさやよさを実感できるかという点である。

菅原委員

事務局に伺う。最初にお答えいただいた、学力調査における、ここ 10年間ほどの推移などについて、もう少し詳しく聞きたい。

指導課長

平成25年度の全国学力・学習状況調査においては、発展的な文章問題中心の数学Bの平均正答率が、全国よりも6.4ポイント低く、基礎計算中心の数学Aでも平成28年度において、全国平均と4.1ポイント低いものであった。しかし近年は、令和3年度で全国との差がマイナス1.1ポイント、令和4年度がマイナス0.4ポイント、令和5年度にはポイント差なしと着実に力を伸ばしている。

菅原委員

ほとんどの生徒が高校進学をする中、県公立高校の22校が数学と英語で学校選択問題を採用している。川口市では4人に1人以上がこの学校選択問題に挑戦していると聞いたのだが、授業ではどのような対応をしているのか。

岸田専門委員

教員が補助教材や自作問題を出題するなど、生徒が個々のレベルに応じて 学習できるよう対応をしている。

また、啓林館の教科書の巻末にある「力をつけよう」のページの中には、 1学年から「入試問題にチャレンジ」のコーナーがあり、応用問題や発展的 な内容の設問が多く取り扱われている。

中田委員

各教科書のQRコードによるデジタルコンテンツについては、如何か。

岸田専門委員

QRコードの数については、東京書籍の3学年合計648カ所を筆頭に、GIGAスクール構想の下、各社内容や使いやすさが工夫されている。

一方で、大日本図書のQRコードの数は53カ所であり、差があることは 否めない。

井上教育長

他にご質問はあるか。無いようなので、これで数学に関する質疑を終了し、 教科書を決定していきたいと思う。何か意見はあるか。

中田委員

私は東京書籍が良いと思う。基礎・基本を確実に定着させることが、数学の学習意欲の継続には必要である。また、QRコードのコンテンツ数や使いやすさなど、視覚的な効果により、これから更に進むであろうICT端末を活用した授業に、より対応しているのは東京書籍の方だと考える。

小野寺委員

私は東京書籍が良いと思う。小学校の算数から中学校の数学になると、難 易度が上がり、数学嫌いの生徒が増えると聞いた。そう考えると、生活との 結びつきを重視していることで、数学の有用感を持たせやすいことや、基 礎・基本から丁寧な扱いをしていることから、東京書籍の方が川口市の子ど もに適していると思う。

菅原委員

私は啓林館が良いのではないかと思う。8年前に啓林館の教科書を使い始めてから、指導課長からも、毎年順調に学力が伸びていると聞いた。今年度は学習指導要領の改定時期ではないこともあり、啓林館を継続することに利点を感じる。また学校では、一般的に成績が中・低位層の生徒に対しては、補習等に手厚く取り組み、上位層へのアプローチが十分ではない傾向がある。中学生が躓きやすい単元を比較した場合、上位層の学習意欲の向上につなが

ると考えられる。

齋藤委員

私は啓林館を推す。確かに、小野寺委員のおっしゃるとおり、東京書籍は 基礎・基本を重視した、丁寧な内容という特徴がある。一方で啓林館には発 展的な学習を大切にしている特徴が見られる。県公立入試で、学校選択問題 のある学校を受検する生徒は、約28パーセントと聞いた。成績下位層に視 点を置くことも大切だが、上位層の生徒の意欲を更に高めることも重要であ る。中学生の場合、進路実現のための学習を充実させることも非常に大切で ある。ほとんどの生徒が高校へ進学する中、入試や高校での学習にも目を向 けている啓林館が良いのではないかと思う。

井上教育長

これまでの協議の内容や各委員のご意見から、東京書籍と啓林館で意見が 二分している。専門委員の説明や、各委員のお考え、そして私自身も教科書 を手に取って、両者の内容を検討したところ、やはり、学校現場の教員の創 意工夫により、成績低位層への手立てが充実していること、また、ほとんど の生徒が高校進学をする中、高校での学習に対する意欲付けにより、小・中 高の一貫した学びを重視している点から啓林館が良いと考える。

以上のことから、数学の教科書は啓林館を採択することに決定してよいか。 (異議なし)

委員

井上教育長
以上で数学について、協議を終了する。専門委員と事務局は退出を。

(数学専門委員・事務局 退室)

井上教育長

次に理科の専門委員・事務局の入室を求める。

(理科専門委員・事務局 入室)

専門委員会として、各学校からの報告書並びに調査員からの報告書等の意見を十分汲み取って検討されてきたと思うが、教育委員会としても学習指導要領の趣旨に則り、「生徒にとって学びやすく、教員にとって指導しやすい」という観点で、よりよい教科書を選んでいきたいと考える。そこで、専門委員・事務局に入室をお願いした。

これから、理科の教科書について、専門委員会の調査、分析等をご説明いただいた上で、質問をさせていただく。それではお願いする。

功刀専門委員

理科について報告する。理科の教科書は5社からの採択となる。理科は、「自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す」という学習指導要領の趣旨を踏まえ、調査・研究を行った。

では、各社の教科書について、学校調査等もあわせて報告する。

はじめに、東京書籍について報告する。課題設定から学びの順序に沿って、 探求学習ができるつくりとなっており、生徒が学習を進めていく過程におい て最適なタイミングで思考を働かせ、学習のまとめの後に、学んだことを生 かして自分なりに考え、次の学習へつなげる場面を設定し、学習を広げるような構成となっている。また、ICTコンテンツ・写真・動画の内容が充実しており、ICTを積極的に活用することで、自分の考えを整理することができるよう工夫されている。学校の報告書では、生徒自身に考えさせ、主体的に学びに向かう手立てが充実しており、単元を通しての課題や章ごとにも小さな課題が設定されているので、取り組みやすい構成になっている。観察実験の流れが大きく整理され、手順がわかりやすく表示されている。生徒に科学的思考力を働かせる問いかけやまとめ方の指示が明確で使いやすいなどの意見があった。保護者の意見は、無かった。

次に、大日本図書について報告する。探求学習を進めるための説明や資料が豊富であり、理科の見方・考え方を働かせるような構成となっている。また、ウェブサイトを活用した教科書外の幅広い学習に関するコンテンツが充実しており、図や写真を多く使用することで、生徒の思考力・判断力・表現力を発揮することができるつくりとなっている。学校の報告書では、結果から考察への考えるヒントがあり、科学的思考力を高められるよう工夫されている。課題を解決するための構成が1時間ごとにはっきりと区切られているので、授業を進めやすいなどの意見があった。保護者の意見は、特に無かった。

次に、学校図書について報告する。事物・現象に関連する写真を多く掲載し、色使いやフォントなどを工夫することにより見やすいつくりになっており、特に、実験操作を行う際、参考となる写真を多く使用していて、初任者や生徒が実験を進める際の手助けとなるつくりとなっている。また、学んだことを身近な事象に活用できるよう、実際に起きている社会現象との関わりに目を向けさせるつくりとなっている。学校の報告書では、学びのあしあとのページを用いて、生徒自身で振り返りができるようにしている。生徒が登場人物のつぶやきによって、理科の見方・考え方をはたらかせるように工夫されている。などの意見があった。保護者の意見は、特に無かった。

次に、教育出版について報告する。探求の進め方が巻頭に記載されており、 生徒が主体的に学習に取り組みやすいつくりとなっている。「要点のチェック」を活用しながら、5段階ステップで学力の定着を図るつくりとなっている。また、理科の見方・考え方や予想、仮説などを生徒の会話による吹き出しで表現しており、実験手順を写真で詳細に掲載したつくりとなっている。 学校の報告書では、レポートの書き方があり、生徒に指導しやすい。実験方法が丁寧に記されており、細かく注意点が記載されている。見開きで実験・観察をまとめているので、振り返りやすい。コラムが優れているなどの意見があった。保護者の意見は、特に無かった。

最後に、啓林館について報告する。学習シートや画像、QRコードから動 画などの様々なコンテンツを使うことで、生徒の学習の手助けとなっており、 サイエンス資料に他教科との関連記載があり、教科横断的な活用ができるつくりとなっている。また、学習の振り返りのためのコンテンツドリルの問題や実生活に活用する「アクション」「深めるラボ」には自ら学びに向かう力を育成する手立てとなっている。学校の報告書では、教科書でありながら資料集のように使用できる。振り返りシートも既習内容と身近な科学が結びつき、工夫されていた。探求の過程に沿って学習ができる。練習問題やコラムなども身近な教材が多く、生徒の関心を高める内容であったなどの意見があった。保護者の意見は、特に無かった。

以上である。

井上教育長

ただいまの報告について、質疑を行う。何か質問はあるか。

小野寺委員

全国学力・学習状況調査において、理科の調査が行われるのは3年に1度 と聞いている。直近の令和4年度に実施された調査から明らかになった、生 徒の課題について、お聞きしたい。

功刀専門委員

令和4年度に実施された全国学力・学習状況調査において、身近な事象から課題を見いだし、予想を立てて観察や実験を行い、分析、考察する「探究の過程」を通した学習に関する問題の正答率が、全国、埼玉県と同様に、本市でも低い値となった。また、意識調査では、理科の学習の有用性、学習したことの活用、生活や職業との結びつきが低いという結果も出ている。以上のことから、本市の生徒の課題としては、探究の過程の授業展開を通して、生徒が「理科の見方・考え方」を働かせながら、自ら課題を解決できるようにすること。そして、日常生活や社会との関連を重視した課題設定と理科の有用性を感じさせることの2点だと捉えている。

小野寺委員 功刀専門委員 答えの中にあった、「理科の見方・考え方」について、説明をお願いする。 理科の見方や考え方とは、エネルギー・粒子・生命・地球といった各領域 における自然の事物・現象を捉える視点や考え方のことをいう。具体的には 量的・関係的な視点で捉えること、質的・実体的な視点で捉えること、多様 性・共通性の視点で捉えること、時間的・空間的な視点で捉えることが、視 点として大切となる。

井上教育長

先程、本市の課題として探究の過程を通した学習に関する問題の正答率が低いとの回答があった。探究の過程の授業展開について工夫を示している教科書についてお聞きしたい。

功刀専門委員

どの教科書も、「探究の過程」で授業を進められるような工夫がある。中でも、探求学習を進める上で、生徒にとって適切なタイミングで図や表等の記載があり、思考の手助けとなっている教科書が東京書籍である。また、探求の進め方が巻頭に記載されており、生徒が探究の流れを意識できるつくりとなっている教科書として教育出版があげられる。さらに、学習シートや様々なコンテンツをふんだんに使いながら生徒の学習を手助けしている教科書が啓林館となっている。

井上教育長

これからの変化の激しい社会を生き抜く子どもたちにとって、子どもたちが自ら課題を見いだし、主体的に学習に取り組む授業が必要だと思われる。 そこで、課題を見いだす場面に工夫が見られる教科書についてお聞きしたい。

功刀専門委員

各社の教科書とも、単元の始めに生活との結びつきから、課題を見いだす 工夫がされている。まず、学習内容に関わる大きな写真を使い、視覚的にイ ンパクトがある教科書が大日本図書と学校図書、教育出版、啓林館である。 そして、写真とともに簡易的なスタート動画などから課題をつかむ場面を設 定している教科書が東京書籍となっている。また、東京書籍、教育出版、啓 林館は、単元の始めと終わりにあえて同じ問いを設定し、学習の前後で、自 身の考えの変容が分かるつくりとなっており、成長を実感できるよう工夫さ れている。

中田委員

全ての生徒がICT端末を使うようになってから3年が経ち、学習ツールのひとつとして教育現場にかなり浸透していると聞く。その点において工夫が見られる教科書について、お聞きしたい。

功刀専門委員

どの教科書にもQRコードの記載があり、デジタルコンテンツが容易に利用できるようになっている。記載されているQRコードの数が多い教科書は東京書籍、学校図書、教育出版、啓林館となっている。中でも東京書籍は、NHK for Schoolの豊富な動画コンテンツとつながり、例えば外国籍をはじめとする、多様な生徒への理解の助けとなる。一方で、今回検定を通らなかった大日本図書は、QRコードの数が3学年合計で61カ所と、最も多かった東京書籍の750カ所の1割に満たない数となった。

中田委員

毎年のように、理科の実験中に起きた事故について報道されている。実験 観察中における事故防止について、工夫されている教科書についてお聞きし たい。

功刀専門委員

すべての教科書において、安全についての配慮が必要な箇所には、「危険」または「注意」等のマークを配置し、赤い文字で強調して具体的に記載されている。中でも、実験の準備物について、チェック項目を付けて記載している教科書が東京書籍、学校図書、教育出版である。また、東京書籍はQRコードを使い、安全で正しい実験方法の動画を豊富に収録している。そして、啓林館は、気をつけたい実験操作を動画で見ることができる。更に教育出版は実験手順を写真で詳細に掲載しており、生徒だけではなく、教員にとっても実験の手助けとなるものである。

菅原委員

実験観察の他に、生徒にとってわかりやすい、教員にとって使いやすい工 夫をしている教科書についてお聞きしたい。

功刀専門委員

各社の教科書とも、生徒の学びを支援し、教員にとって授業を進めやすいつくりとなっている。中でも東京書籍は、柔軟な授業構成に対応し、改行の位置や文字間隔など読みやすさや、多様な学習に適応できるつくりとなっている。また、生徒が理科の見方や考え方を働かせる場面や思考する場面で、

細やかな説明をしているつくりとなっている教科書として学校図書、教育出版、啓林館が挙げられる。

齋藤委員 学校意見としては、どの教科書が川口市の実態に合っていると報告がある のか。

功刀専門委員 2つの教科書が上がっている。1つ目は東京書籍、2つ目は啓林館である。 東京書籍は、実験に関する説明の丁寧さや、日常生活との関連について評価 する記載が見られた。また啓林館は、写真やイラスト等が豊富なことや、探 究活動への流れについて評価する記載が見られた。

齋藤委員 東京書籍と啓林館の特徴は、端的にどのような部分か。

功刀専門委員 情報が豊富で、発展的な学習のための教材数が多い点が啓林館の特徴であり、情報が整理され、シンプルかつ要所をつかんだ見やすい内容となっている教科書が東京書籍の特徴であると言える。

井上教育長 他にご質問はあるか。無いようなので、これで理科に関する質疑を終了し、 教科書を決定していきたいと思う。何か意見はあるか。

中田委員 東京書籍と啓林館の2社で悩んだが、東京書籍を推す。生徒が主体的に学びやすいという点。さらに、デジタルコンテンツを積極的に取り入れており、NHK for Schoolの豊富な動画とリンクしているという点。これからの学びを考えると、こうしたつながりを持っている方向性を評価した。

小野寺委員 私も東京書籍が良いと思う。Before&Afterが、学習の導入、 そして振り返りを行う上で、とても分かりやすいと思った。また、章ごとに 小さな課題が設定されていて、スモールステップで取り組みやすく、更に観 察、実験の流れや手順もわかりやすく表示されていて、生徒たちが使いやす いものになっていると思う。

菅原委員 私は東京書籍を挙げたいと思う。様々な点を総合し、科学的に探究する学習活動の充実が多く図られていたこと。さらに、「まちなか科学」「お仕事図鑑」等において、日常生活や社会とのかかわりが紹介されている点が、生徒の理科に対する意欲を喚起し、理科好きな生徒が増えることを期待できるのではないか。

齋藤委員 私も東京書籍を推したい。QRコードの多さが決め手となった。理科を好きな生徒が増えるのではないか。また、実験の手順などの一つひとつの説明が群を抜いて丁寧である。

井上教育長 私も各委員と同意見である。理科という教科の特性上、実際には経験できないことも、デジタルコンテンツで生徒の興味と関心を高める工夫が有効であるとの考えから、東京書籍を推したい。

これまでの協議の内容や各委員のご意見から、理科は東京書籍を採択することに決定してよいか。

委員 (異議なし)

井上教育長
以上で、理科についての協議を終了する。専門委員と事務局は退出を。

ここで暫時休憩とする。 1 時間程度。 (理科専門委員・事務局 退室)

井上教育長

再開する。次に音楽の専門委員・事務局の入室を求める。

(音楽専門委員・事務局 入室)

専門委員会として、各学校からの報告書並びに調査員からの報告書等の意見を十分汲み取って検討されてきたと思うが、教育委員会としても学習指導要領の趣旨に則り、「生徒にとって学びやすく、教員にとって指導しやすい」という観点で、よりよい教科書を選んでいきたいと考える。そこで、専門委員・事務局に入室をお願いした。

これから、まず、音楽(一般)の教科書について、専門委員会の調査、分析等をご説明いただいた上で、質問をさせていただく。その後、音楽(器楽)の教科書について、ご説明いただき、質疑に入る。それではお願いする。

三浦専門委員

音楽科の教科書は一般、器楽ともに、教育出版、教育芸術社の2社からの 採択となる。まず、保護者からは、一般か器楽かの明記は無かったが、教育 出版がいいが、歌の選曲が教育芸術社の方が良いとの意見があった。

それでは、音楽(一般)の教科書の特徴やよさについて報告する。

教育出版の一般は、学習MAPが掲載されており、その教材でどのような知識・技能を学ぶことができるのかが示されている。また、美しいイラストや写真で曲想への想像力が膨らむ工夫がなされている。協働的な学びに関しては、話し合いや交流を積極的に促すようなページが掲載されており、他の生徒と関りをもちながら楽しく学べるような工夫がなされている。伝統音楽においては様々曲種が掲載されており、QRコードの動画でも演奏の仕方などを確認できるので、生徒の興味関心を引くことができる。学校調査報告からは、「挿絵が鮮やかで、音楽的表現に結び付きやすく、効果的である。」「創作の内容が充実しており、生徒が思考しやすい内容となっている。」「日本の伝統音楽の入門としての知識が新たに追加されており、伝統音楽を学ぶ上で最適な導入として活用できると感じた。」といった所見が見られた。

教育芸術社の一般は、学びの地図となる内容が配置され、生徒は各教材を通して自分がどのような音楽の力を身に付けられるのかが明確に示されている。また、発達の段階に応じながら、系統的に学びを重ねていけるような教材の配置になっている。音楽表現を膨らませるためのイラストやキャラクターによってのヒントなどの工夫がなされており、生徒が楽曲を通して思いや意図を伝えられるようになっている。協働活動においては、話し合いやグループ活動などを必ず音を通して行うようになっており、生徒が楽しみながら音楽に親しめるようになっている。さらに諸外国や我が国の総合芸術が意図的に並べられおり、比較聴取をすることでそれぞれの良さを味わうことができるようになっている。学校調査報告では、教育芸術社を高く評価してい

る。理由としては、「題材のねらいが記されており、何を学ぶのかが生徒にも明確である。」「学びの地図により、音楽的な資質・能力の3つの力などが系統立てて示されている。」「生涯にわたって音楽を愛好できるように『生活や社会の中の音や音楽について』の記載や、知覚・感受を要とした充実した学習指導をしやすいと感じた。」といった所見あげられており、これらの理由から総合的に、教育芸術社が評価されたと考えている。

音楽 (一般) については、以上である。

井上教育長ただいまの報告について、質疑を行う。何か質問はあるか。

中田委員 学習指導要領の目標に「音楽的な見方、考え方を働かせ」とあるが、どの ようなことなのか。

三浦専門委員 学習指導要領解説「音楽編」によると、音楽に対する感性を働かせ、音や音楽のよさや美しさなどの質的な世界を価値のあるものとして感じ取るときの心の働きを意味しており、自己のイメージや感情、生活や社会の伝統や文化などに関連付けた学習を行うことである。

中田委員 学習指導要領の目標にある「生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊か に関わる資質・能力を育成する」ことには、どのような意味があるのか。

三浦専門委員 日々の生活や、その生活を営む社会の中に様々な音や音楽、音楽文化があり、直接、間接に影響を与えている。これらの音楽が生徒のその後の人生において、心豊かにすることや、自分とは異なる文化的・歴史的背景をもつ音楽を大切にするねらいがある。また、音楽の多様性を理解することで、音楽文化についての理解を深めていくことが、音楽科の重要なねらいである。

齋藤委員 教育出版と教育芸術社のそれぞれの教科書の特徴について、お聞きしたい。 三浦専門委員 両社ともデジタルコンテンツを活用することで、より学習を深めるための 工夫がなされている。教育出版では、「まなびリンク」というウェブサイト が利用でき、教科書の内容にリンクした動画、音声、ワークシートを使用で きる。教育芸術社もそれぞれの題材の必要とされる学習をQRコードの利用 で学ぶことができる。

齋藤委員 教育出版には、「学習MAP」があるとのことだが、教育芸術社は、これに 相当するものは無いのか。

三浦専門委員 教育出版の「学習MAP」は、教材を大きく取り上げ、その教材を通して 学習を進めるためのねらいや活動等が記載されている。教育芸術社では、各 学年の「学習内容」が「学びの地図」として掲載されている。その学年の大 きな学習の目標が学習指導要領の教科の目標に則しており、各領域の学習を 進めるための教材が明記されている。

井上教育長 教育芸術社は、教材の特徴が捉えやすい美しい写真が豊富とのことだが、 具体的にどのようなところか。

三浦専門委員 一例をお示しする。教育芸術社2・3下の10~15ページをご覧いただ きたい。「花」の掲載ページとなっている。見開きで大きく、曲をイメージ できる美しい写真と歌詞が掲載されており、その次ページからは、楽譜が載っている。これは、学習が一連の流れで行うことができ、効果的と考える。また、教育出版も同様の「花」は10・11ページに美しい写真が載っており、学習するページが12ページにある。教育芸術社は、歌詞を含め、9割以上UDフォントを使用しており、楽譜・写真などユニバーサルデザインの観点からの工夫がされている。また、特別支援教育の視点に立った配慮として、写真に歌詞を入れる時には、無地の部分に白文字で配置することで、視認性の高い紙面構成になるよう工夫されている。

井上教育長 思考力・判断力・表現力等の育成習得において、教育芸術社が優れている とのことだが、具体的にはどのようなことを指しているのか。

三浦専門委員 教育芸術社は教材に対して大きく美しい写真を加え、思考・判断・表現力 の向上を図るワーク的なアプローチも付け、教科書一冊で多様な学習ができ る設定がされている。

小野寺委員 教育出版は、教材に関する音楽用語や記号が右側に示されていて、学習すべきことが、より把握しやすいとのことだが、具体的にはどのようなことを指しているのか。

三浦専門委員 一つの例をお示しする。教育出版の音楽のおくりもの1、28ページをご覧いただきたい。右下に歌唱する上で必要な音楽用語が示されている。記号を確認することによって、表現活動の工夫につながる。

管原委員 音楽の多様性を感じるうえで欠かせない「我が国や郷土の伝統音楽、諸外 国の音楽」はどのように扱われているのか。

三浦専門委員 両社ともに特徴があり、工夫がされている。教育出版は、我が国の作品から諸外国へと関連した教材を取り扱っている。教育芸術社は、伝統文化及び 諸外国の音楽が学年ごとに複数の教材が取り扱われており、系統的に学べる 工夫がされている。

井上教育長 他にご質問はあるか。無いようなので、一般に関する質疑を終了し、続いて、器楽について調査報告をお願いする。

三浦専門委員 器楽の教科書について説明する。

教育出版の器楽は、和楽器や洋楽器についてバランスよく学べる配置になっている。また、QRコードにより、基礎的・基本的な奏法技術が身に付けられるようになっていることに加え、生徒の思いや意図を言語化し協働的な学びへ発展できるようになっており、音楽的な見方・考え方を活用できる工夫もなされている。さらに考えたことを交流させる内容や、学びを深めるための内容が掲載されている。我が国の伝統音楽においては、ロ三味線や唱歌など、伝統的な継承の仕方や、和洋を超えて楽器が紹介されており、伝統音楽に親しみや実感がもてるようになっている。学校調査報告からは、「鑑賞の教材を器楽用にアレンジして表現できるようにされており、鑑賞と表現を結び付けて学習できる。」「音楽の共通性や固有性についてわかりやすく書か

れており、音楽文化の理解に役立つように思える。」「教科書全体がワークシートのように使える形式になっており、授業を構成しやすいつくりになっている。」といった点が所見としてあげられている。

教育芸術社の器楽は、音楽の構造や、楽器の特徴及び奏法を「コラム」やQRコード等により、生徒が分かりやすく理解できるよう工夫されている。また、技術的に易しいものからステップを踏んで上達できるよう教材が配置されているため、楽しみながら技術が習得できるようになっている。知覚・感受したことを「思考・判断・表現」につなげられる様々な工夫がみられ、「音で確かめながら自身の演奏を振り返る」ことができるようにもなっている。「学習マップ」や巻末には楽器の図鑑などが掲載されており、見通しをもち、自己調整しながら主体的に学習に取り組めるような工夫がある。学校調査報告からは、「小学校から一貫した系統立てがしっかりしているのでどんな力が身につくのかが実感しやすい。」「音楽を形作っている要素の説明が細かく、生徒が要素を理解して目標をもって授業にのぞめそうな構成になっている。」「リコーダー、ギター、筝の順番に記載があり、一般に授業でよく扱われる楽器に重きが置いてある点に工夫がみられる」といった所見が見られた。

音楽(器楽)については、以上である。

井上教育長

ただいまの報告について、質疑を行う。何か質問はあるか。

小野寺委員

器楽の教科書も教育出版と教育芸術社の2社のみだが、県内の器楽の教科 書の採択状況について、お聞きしたい。

三浦専門委員

一般と同様に、現行では25地区のうち、さいたま市は教育出版、それ以外の24地区が教育芸術社となっている。また、一般と器楽を別社にしている地区は無い。

齋藤委員

2社の教科書には、それぞれどのような特徴があるのか。

三浦専門委員

一般の教科書でも申し上げたが、どちらの教科書もデジタルコンテンツが 充実しており、より学習を深めるための工夫がなされている。両社ともQR コードによりウェブサイトが利用でき、教科書の内容にリンクして奏法等が 確認できる。教育出版では、扱う楽器のほとんどに「+深めてみよう」とい うコーナーが設定されており、学習者の技能習得に役立てることができるよ うになっている。教育芸術社は、技術を習得するためにやさしい教材から配 置されており、どのような生徒でもステップを踏みながら技術を身に付けら れるような工夫がなされている。

井上教育長

両社について伺うが、思考力・判断力・表現力等の育成習得については、 どのような工夫がされているのか。

三浦専門委員

教育出版には、「表現の仕方を調べてみよう」というコーナーが設けられ、 生徒の思いや意図を言語化し、協働的な学習に発展できるようになっている。 教育芸術社は、思考した内容を記述するページが設定されており、そこで は記述した内容を実際に演奏し、音で確かめながら自身の課題を確認ができるような工夫がなされている。

菅原委員 音楽(一般)の教科書の方でも伺ったが、「我が国や郷土の伝統音楽、諸外国の音楽」はどのように扱われているのか。

三浦専門委員 両社ともに、楽器の奏法を動画で確認できる等、技能習得に向けて丁寧に 扱われている。教育出版は、アンサンブルにおいて、多用な活動及び創作活 動が扱われている。教育芸術社は、伝統的な楽曲に加え生徒が親しみをもて る楽曲も掲載されているため、生徒の興味・関心を引きつつ、楽しく学ぶこ とができる工夫がなされている。

中田委員 ユニバーサルデザインの視点から、それぞれの教科書の工夫はされている か。

三浦専門委員 両社ともユニバーサルフォントを使用するなど、特別支援教育の観点から ユニバーサルデザインへの取り組みがなされ、楽譜等が読みやすいよう工夫 がなされている。教育出版では、判読性・視認性の高いカラーユニバーサル デザインを用いている。教育芸術社は、先天色覚異常をもつかたの助言を受 けて編集するなどの配慮がある。

井上教育長 他にご質問はあるか。無いようなので、これで器楽に関する質疑を終了し、 音楽の教科書を決定していきたいと思う。まず、一般について採択すべきで あると考える教科書を1社挙げ、その理由についてもお願いしたい。

中田委員 何を学ぶか、生徒が明確にわかること、教員が、学習指導しやすいという ことから、教育芸術社を推薦する。

小野寺委員 私も教育芸術社が良いと思う。学びのコンパスや、アクティブなどで、生徒が主体的・対話的に学べる工夫がされており、使いやすいと思う。学習の ねらいが記されており、何を学ぶのかが、生徒にわかりやすくなっている。 また、楽譜の部分と文章の部分が明確に分かれていて、誰でも読みやすい構成になっており、生徒が使いやすいものになっている。

菅原委員 私も教育芸術社が良いと思う。理由は、日本や諸外国に伝わる様々な音楽が取り上げられているという点。また、全体的に、生徒が表現活動に取り組める工夫が随所にみられたという点である。

齋藤委員 私も教育芸術社を推薦したいと思う。写真などのデザインの工夫、また、 特別支援への配慮をしていること。さらに、音楽の入り口に興味をもたせる ようなカリキュラムの構成になっていると感じる。

井上教育長 続いて器楽について、お願いする。

中田委員 器楽も教育芸術社を推す。技術的にやさしいところからステップを踏んで 教材が並んでいる。これによって、生徒が楽しく学べるのではないか。

小野寺委員 私も教育芸術社が良いと思う。中学生の学習で良く使われる、和楽器や洋 楽器について、バランスよく学べるように題材が並んでいる。また、扱って いる楽器の数が多く、様々なジャンルについて解説しており、生徒の興味関 心を引きやすいものになっている。さらに、最近の曲が多く収録されており、 音楽に親しむ工夫がされている。

菅原委員

教育芸術社を推したいと思う。様々なジャンルで活躍している方々のメッセージや、同世代の音楽活動の様子などを掲載し、生徒が意識的に、生活や社会の中の音楽との関わりに目を向けられるような工夫がされている。

齋藤委員

教育芸術社を推薦する。まず、やってみようという意識が強く、生徒たちに「やってみようかな」と興味をもたせるもので、好感をもった。また、音楽(一般)でも申し上げたが、特別支援への配慮がより細かくなされている。

井上教育長

私も音楽(一般)・(器楽)ともに、教育芸術社の、生徒の興味・関心を引いて意欲を引き出す細やかな工夫がなされている点を評価する。

これまでの協議の内容や各委員のご意見から、一般は教育芸術社、器楽も教育芸術社を採択することに決定してよいか。

委 員

(異議なし)

井上教育長

以上で音楽について、協議を終了する。専門委員と事務局は退室を。 (音楽専門委員・事務局 退室)

井上教育長

次に美術の専門委員・事務局の入室を求める。

(美術専門委員・事務局 入室)

専門委員会として、各学校からの報告書並びに調査員からの報告書等の意見を十分汲み取って検討されてきたと思うが、教育委員会としても学習指導要領の趣旨に則り、「生徒にとって学びやすく、教員にとって指導しやすい」という観点で、よりよい教科書を選んでいきたいと考える。そこで、専門委員・事務局に入室をお願いした。

これから、美術の教科書について、専門委員会の調査、分析等をご説明いただいた上で、質問をさせていただく。それではお願いする。

小出専門委員

美術について報告する。美術科の教科書は、開隆堂、光村図書、日本文教 出版の3社からの採択となる。学習指導要領の趣旨を踏まえ、「美術を愛好 し、主体的に創造する力」と「美術と生活や社会を関連させ、美術について 深く考える力」を高め、自分なりの意味や価値を生み出す為に必要な資質・ 能力を育成するという点を重視し、調査・研究を行った。以下、各社の教科 書について、調査結果、学校報告書、保護者意見を踏まえて報告する。

はじめに開隆堂について報告する。生徒の興味・関心をひくための工夫として、表紙に凹凸をつけ、触って質感を感じることができるようになっていたり、裏表紙も資料提供の文字を集めた形が表紙の図版と揃うようになっていたり、遊び心を感じさせる特徴があった。発想・構想力を育むための工夫として、各題材に共通のキャラクターを使用し、吹き出し等で生徒の思考のポイントと見方を導けるようにしており、「発想・構想」について、「何のために、何を、どのように表すのか考え、主題を生み出す力を身につける」点

で、授業での効果的な活用を期待できる。学校の報告書では、「原寸大や部分拡大、見開きのページ、特殊な立体印刷など生徒の学習意欲を高める工夫が随所に見られる。」とあった。保護者意見は、特に無かった。

次に光村図書について報告する。大きな特徴として、技法の資料を別冊にすることにより、技能などの視点から制作に取り組みやすいようになっている。各題材のページが「鑑賞」と「表現」の2つで簡潔にまとめられ、表現と鑑賞のつながりが意識しやすく指導しやすくなっている。また、他教科・道徳科とのつながりを考え、他教科の学習とどうつながっているのか教科横断的な学習意識が高められる工夫がある。日本の絵画に親しめるようページを和紙にしたり、雰囲気に合った字体にしたり、形や色など視覚だけではなく、触覚も使って感じることができるように工夫されていて、生徒の興味・関心を高めることにつながると言える。学校の報告書では、「各題材にQRコードが載っており生徒が自分に必要な部分を探して映像解説を見ることができ、基礎的な部分を再確認しやすく、デジタル教材は生徒にとって親しみやすいのではないか。」という意見があった。保護者意見は、特に無かった。

最後に、現在使用している日本文教出版について報告する。教科の特性である造形的な視点が題材ごとに設定され、共通事項を意識して感じたり、気づいたりすることができ、造形的な見方・考え方を働かせる基盤として指導できるようになっている。「表現及び鑑賞に関する資質・能力」を相互に関連させた学習指導ができるように、一つの題材について表現につながる「鑑賞」のページから始まり、発想・構想を練る具体的な手立てとなる「表現」のページとわかりやすい紙面構成になっているため、学習指導要領に沿った授業の流れが組み立てやすいという特徴も挙げられる。また、題材数や作品数が多く、題材の中で平面、立体両方の作品が掲載されることで、表現の幅が広がりやすいという意見や、さらに、短時間題材の掲載により、年間指導計画を立てる際の参考にしやすいという意見もあった。学校の報告書では、「発問が誘導的すぎないところが生徒の自由な発想を妨げなくてよい。」「同じページに載せる作品の並びが工夫されており、違いや個性が伝わりやすく見やすい。」という意見があった。保護者意見では、「2、3年生が上・下あり、幅が広い表現でいい」と思うという意見があった。

以上である。

井上教育長ただいまの報告について、質疑を行う。何か質問はあるか。

中田委員 本市では、現在日文の教科書を使用しているが、長く日文のものを使い続けているのか。

小出専門委員 本市の中学校美術科では、15年以上、開隆堂の教科書を使用していたが、 前回の採択から、日文を使用している。

中田委員 美術科は作品展等を通して、他市の教員と交流する機会もあると聞いてい

るが、県内の他の採択地区の状況は、如何か。

小出専門委員 現行では県内25の採択地区のうち、日文を13地区、開隆堂を9地区、 光村を3地区で使用している。

小野寺委員 川口市の生徒は、美術においてはどのような課題があるのか。

小出専門委員 美術担当の指導主事からは、現場の教員や、学校訪問の様子を通して、「美術を愛好し、主体的に創造する力」と「美術と生活や社会を関連させ、美術について深く考える力」の大きく2点に課題があるとの報告を受けている。

小野寺委員 今あげられた、「美術を愛好し、主体的に創造する力」と「美術と生活や社会を関連させ、美術について深く考える力」を生徒に身につけさせるためには、どのような教科書が適しているのか。

小出専門委員 学習指導要領にて育成する資質・能力として示される、3点に働きかける 確実な授業実践が必要となる。1つ目に、造形的な視点について理解し、表 現方法を創意工夫し、創造的に表すこと。2つ目に、造形的なよさや美しさ、 表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすること。3つ目に、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心 豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培うことである。 以上の3点を踏まえて、生徒が幅広い作品に触れ、見方・考え方を深め、自 分なりの意味や価値を作り出すという主体的な学習ができる教科書が適すると考える。

齋藤委員 本市の生徒が美術の見方・考え方を深め、本市の生徒の課題に即した特徴 を持つ教科書について、お聞きしたい。

小出専門委員 各社とも、形や色などの造形的な特徴が理解できるように、学習のポイントや、材料や用具の扱いをわかりやすく紹介し、「知識や技能」の習得に向けて対応されている。中でも日文は、題材ごとに「造形的な視点」が設定され、作品から「共通事項」を意識して感じたり、気づいたりすることができるようになっている。動画で技法の流れを確認できるとともに、「表現のヒント」や「作者の言葉」によって、イメージを広げることもできるような工夫がされている。また、各冊の巻末に設定した「学びを支える資料」は、題材に対応した材料や道具の使い方が詳しく紹介され、生きて働く知識及び技能の習得を図ることができる構成になっている。

齋藤委員 生徒が様々な見方や感じ方で見ることができる作品が掲載され、作品について考えたり、自分に適した表現方法を選べたりするよう「思考力、判断力、表現力等の育成」について対応している教科書はあるのか。

小出専門委員 開隆堂は、それぞれの活動で、発想・構想について、何のために、どのように表すのかを考え、主題を生み出す力を身につけるような表現になっている。

光村図書は、表現のコーナーでは、生徒が発想・構想のイメージを抱きや

すいように生徒作品を配置し、作者の言葉から思いや工夫を感じ取ることができるようになっている。学校の調査報告では、「歴史的な作品や現代作家の作品の解説、作者の言葉が詳しく記載され、生徒のつぶやきも多用されていて親しみやすい。」という意見があった。

日文は、先程申し上げた内容と重なるが、「表現のヒント」により、表現活動における発想・構想の手立てや生徒が、よさや美しさを考えるきっかけや着目点を示している。美術1巻末の「学びを支える資料」の発想・構想の手立て1、2では、生徒からアーティストまで幅広く作品につながる発想・構想のコツがわかりやすく紹介されている。生徒作品・美術作品の掲載数では日文、次いで開隆堂となっている。

井上教育長

本市生徒の課題としてあげられていた、美術と生活や社会を関連させるという点については、生徒の興味関心を高めるために、各社の教科書はどのように工夫されているのか。

小出専門委員

開隆堂は、参考作品とバランスよく掲載され、作品理解がわかるようになっている。美術1では、冒頭の「図画工作から美術へ」の項目で、生徒の関心を高め、社会とつながる文化を生み出す意識が持てるように工夫されている。

光村図書は、他教科・道徳科とのつながりを考え、教科横断的な学習意識が高められるような工夫がされている。比較して鑑賞できる資料が多く、鑑賞の次に表現が表示され、鑑賞したことが表現に生かせる構成になっている。また、「体感ミュージアム」など、鑑賞の学びを広げる工夫がある。

日文は、より多くの生徒作品数が掲載されており、作者の言葉が詳しく掲載され、表現と鑑賞が一体となった授業を展開することができるようになっている。題材の冒頭に鑑賞作品を掲載することで表現と鑑賞の相互関係を意識した構成になっており、美術がいかに生活に密着した関係になっているかを感じさせる資料表記となっている。

菅原委員

川口市の美術を担当している教員の年齢構成などについて、どのような特徴や課題が見受けられるのか。

小出専門委員

ベテランと若手の二極化が進んでいる。ベテランの教員の中には、自分の 経験の中から授業を組み立てることで内容に偏りが生じたり、技術面に力を 入れてしまったりという課題が見られる。若手の教員の中には、学習指導要 領の指導事項の理解が浅く、作品を作ることが目的になってしまう指導によ り、創造的な活動から見方・考え方を深め、自分なりの意味や価値を作り出 すという美術科で育む資質・能力を育てる授業づくりに課題がある。

菅原委員

専門委員の立場から、美術を教える教員の課題に対応しやすい教科書はあるのか。

小出専門委員 各教科書とも生徒の興味関心をひく紙面構成であったり、発問や構成を工 夫したり、表現と鑑賞のバランスについて工夫して対応していた。また一方 で、作品を作ることや技術面が重視されてしまうという点では、調査員で懸念されたこととして、動画による制作手順が示されることにより、参考作品の印象が残り自分なりの主題が考えられなかったり、生徒が試行錯誤しながら自分なりの表現を見つけたりする力の育成を妨げる恐れがあるのではないかという意見もあった。そのことを踏まえて、日文は、各題材で、造形的な見方・考え方を明示している点で、教員と生徒とともに身に付けたい力がわかりやすい構成となっている。また、内容の偏りが生じないようにするという点でも、日文は、題材の中に、新しく「短時間でつくる」という項目の作品が掲載され、教員が授業時数を考え、多くの題材を組み合わせて年間指導計画を立てる際の、参考にしやすくなっている。また、3冊の分冊になっていることで、学年ごとに指導を考えることができるようにもなっている。

井上教育長

他にご質問はあるか。無いようなので、これで美術に関する質疑を終了し、 教科書を決定していきたいと思う。何か意見はあるか。

中田委員

日本文教出版を推薦したいと思う。表現のページ、鑑賞のページがあるので、安心して見られる。巻末の「学びを支える資料」がわかりやすくて良い。 危惧していたこととして、動画に頼ってしまうと、発想力が削がれてしまう 心配があったが、日本文教出版はその点が配慮されているということから、 推薦したい。

小野寺委員

私も日本文教出版が良いと思う。1年生の教科書のはじめに、3年間の学びのページがあり、これからの美術の授業がイメージしやすいように工夫されている。また、題材ごとに学びの目標があり、目標がはっきり見やすくなっている。さらに、どう考えて制作していくか、見通しをもちやすくなっており、生徒の興味・関心を引きやすいものになっている。

菅原委員

私は光村図書が良いと思う。先ほど専門委員からもあったが、中折りの鑑賞図版は紙質を変え、触感を大事にした和紙を使用して、日本の伝統文化を紹介している。学校の報告書を見ても、こういった点から選ばれていると思う。また、専門委員からあった、教科横断的な学習が良いと思う。

齋藤委員

私は日本文教出版を推薦したい。生徒作品が非常に多く、「僕も、私もやればできる、やってみたい」と興味を起こさせる効果があると思う。また、巻末の資料は日常生活に役立つもので、卒業後も使える内容であることも理由として挙げたい。

井上教育長

私も、日本文教出版が良いと思う。光村図書は、和紙を使用したり、背景を黒くしたり、視覚的に美しい教科書だと思うが、資料を別冊にしたことで、授業で2冊使わなければいけない。また、資料の中には、生徒の発想を限定してしまうような、方向づけてしまうような心配があると思った。日本文教出版はバランスが良く、造形的な視点の中のコメント等が生徒の発想を引き出す、細かい工夫がされている教科書だと感じた。

これまでの協議の内容や各委員のご意見から、日本文教出版を推す声が多

いようだが、美術は日本文教出版を採択することに決定してよいか。

委員 (異議なし)

井上教育長 以上で美術について、協議を終了する。専門委員と事務局は退室を。

(美術専門委員・事務局 退室)

井上教育長 次に保健体育の専門委員・事務局の入室を求める。

(保健体育専門委員・事務局 入室)

専門委員会として、各学校からの報告書並びに調査員からの報告書等の意見を十分汲み取って検討されてきたと思うが、教育委員会としても学習指導要領の趣旨に則り、「生徒にとって学びやすく、教員にとって指導しやすい」という観点で、よりよい教科書を選んでいきたいと考える。そこで、専門委員・事務局に入室をお願いした。

これから、保健体育の教科書について、専門委員会の調査、分析等をご説明いただいた上で、質問をさせていただく。それではお願いする。

小野専門委員

保健体育について報告する。保健体育については、学習指導要領の趣旨を踏まえ大きく3つの点について検討した。1点目は、学習の流れが明確で、誰もが指導しやすいものとなっているか。2点目は、科学的な理解につなげるために、指導方法の工夫ができるようになっているか。3点目は、身近な生活の場面などから自らの課題を見付け、自らの生活に生かしやすくなっているなど、生徒の主体的な学びにつながっているかである。次に、各社の教科書について、調査結果、学校報告書、保護者意見を踏まえて報告する。

まず、東京書籍について報告する。各ページが、「見つける」「課題の解決」「広げる」という構成となっており、そのまま授業展開することで、主体的、対話的な学習につなげることができる。また、「広げる」の内容は、教科書の内容を実生活につなげることができる実践的な内容となっている。さらに、各ページにある「Dマークコンテンツ」では、より分かりやすい資料や動画へリンクし、その内容も非常に豊富であり、視覚的理解や、様々な実習への活用を容易にしている。学校の報告書では、「3段階の構成で、授業展開がしやすい。」「「活用する」でより実践につなげられることが良い。」「「傷害の防止」などで疑似体験を行うことができる仕組みになっているのがよい。」「動画コンテンツが充実していて生徒の興味関心を高めるのに有効。」などの意見があった。保護者の意見は、無かった。

次に大日本図書について報告する。見開き1ページを1単位としているところが特徴である。ページ左側が文章表記、ページ右側は図、表、写真、イラストなどが表示されており、内容を整理して理解しやすい構成となっている。また、各ページに「話し合ってみよう」「やってみよう」のコーナーがあり、自ら考える活動や、対話的な活動を取り入れやすい内容となっている。学校の報告書では、「資料が右ページ、文章が左ページとなっていて見やす

い。」「絵や図が見やすい。」「巻頭を中心に写真が多く、特に全国大会の写真が使われており生徒の学習意欲を高めそう。」などの意見があった。保護者の意見では、「見やすい」という意見があった。

次に大修館書店について報告する。細かな項目立てにより、基本的な知識の確実な定着が図ることができ、「課題をつかむ」「きょうの学習」「学習のまとめ」の流れが、主体的な学習と、実生活への活用を可能とする構成となっている。また、ページ終わりのQRコードから「保体クイズ」や動画へリンクし、生徒の興味・関心を高めながら、学習を深められる工夫がなされている。さらに、QRコードからワークシートもダウンロードできるようになっており、教科書とワークの機能を兼ね備えた内容となっている。学校の報告書では、「教科書の流れをそのまま生かして授業ができるので授業構成がしやすい。」「イラストや写真、図が見やすく、色分けも分かりやすい。」「課題の提示が明確で、かつ思考を促す記載が多くあった。」「小学校、高校や他教科との関連が示されていることで、横断的なイメージを子どもたちに持たせやすい。」「学びをサポートするデジタルコンテンツが充実している。」などの意見があった。保護者の意見は、無かった。

最後に学研について報告する。課題の発見、課題の解決、学びの活用の基本構成により、主体的かつ対話的な学習により、課題を解決する流れが明確となっている。また、各ページのQRコードからは、資料や外部ページへリンクするようになっており、より視野を広げ、学びが深まる工夫がされている。全体に落ち着いた色調であり、カラーユニバーサルデザインに配慮した教科書となっている。学校の報告書では、「「学びを生かす」の話し合い活動用の資料が良い。」「項目ごとに「学びを生かす」「エクササイズ」の欄があり、生徒の深い学びを促す仕掛けになっている。」「コラムが多く、豆知識になる。」「視認性を高め、ユニバーサルデザインについても配慮されていた。」「親しみ慣れており色使いが落ち着いているので見やすい。」などの意見があった。保護者の意見は、無かった。

以上である。

井上教育長

ただいまの報告について、質疑を行う。質問はあるか。

齋藤委員

中学校学習指導要領解説保健体育編において、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」が求められているが、そのような授業改善を行うために重要な保健学習のポイントは何か。

小野専門委員

ポイントは2点である。

1点目は、生徒が身近な生活における課題を見付け、基礎的、基本的な知識を習得した上で、解決する過程を通して学ばせる課題解決学習を行うことである。そのためには、主体的な学びや対話的な学び、深い学びを促すことが重要となる。

2点目は、指導方法の工夫を行うことである。講義形式の授業で、知識の

伝達を行う授業だけではなく、実習やロールプレイング等実践的な活動も取 り入れ、生徒自身が主体的に調べたり、深く掘り下げて考えたりできる場面 を設定する。また、仲間やグループでの対話的な活動を通して、相手の意見 を受け入れ、考えを深めたり、自分の意見を相手に的確に伝えたりする場面 を設定することが大切である。

齋藤委員

現在、川口市の保健学習の実態や課題はどのような点か。

小野専門委員 本市の実態と課題は以下の2点である。

1点目は、保健体育科教員の構成である。経験年数が5年以内の教員が約 3割、臨時的任用教員が1割以上おり、合わせると経験年数5年以内の教員 が全体の4割以上を占める。

2点目は、保健分野の授業時間数が限られ、実践したり授業を見たりする 機会が少ないということである。保健分野の授業時間数は、保健体育の年間 時間数105時間のうち、16時間程度であり、絶対的な実践数が少ないこ と。また、研究発表等においても、体育分野の授業が行われることが多く、 保健分野の授業を学ぶ機会が少ない現状にある。

菅原委員

今あげられた実態や課題の解決に向けて「主体的・対話的で深い学びの実 現に向けた授業改善」を推進するために、教科書として重視すべきことはど のような点か。

小野専門委員

教科書として、重視すべき点として、次の3点について考えられる。

1点目は、経験の浅い教員であっても、教科書を用いて課題解決学習や効 果的な対話的学習を行うことができるよう、課題設定や対話的な活動を行う 場面設定など、学習の流れが明確で分かりやすく、誰もが授業を進めやすい ことが求められること。

2点目は、生徒が保健の学習内容に関心を持つことができるような工夫や、 保健を学習する必要性を感じることができるような工夫を、ICTの効果的 な活用という観点から、デジタルコンテンツも有効活用して構成された教科 書であることが求められること。

3点目は、生徒の主体的な学びの実現という観点からも、今社会で問題と なっている現代的な課題にも触れながら学習が進められる教科書であるこ とである。

菅原委員

教科書として重視すべき 1 点目である 「課題解決学習」 「効果的な対話的学 習」について、特に優れているといえる教科書はどれか。

小野専門委員

4社どの教科書も課題解決の流れが明確で分かりやすく、対話的な学習を 促す場面設定や教材があり、誰もが授業を進めやすいように工夫されている。 中でも大修館書店は、「課題をつかむ」「きょうの学習」「学習のまとめ」の 3段階により課題解決に向けた道筋が明確であると同時に、内容が細かく項 目立てされており、基本的な知識の習得も効果的に行うことができるような 構成となっている。

東京書籍は、「見つける」「課題の解決」「活用する」の3段階で構成され、 本文中に示される豊富な発問によって、対話的な学習を促すことができるつ くりとなっている。

大日本図書は、「つかもう」「話し合ってみよう」「活用して深めよう」の3 段階構成で、「話し合ってみよう」が直接的に対話的活動を促すつくりとなっている。

学研は、「課題の発見」「学習の課題」「課題の解決」「学びの活用」の4段階で構成され、「課題の解決」や「学びの活用」において、対話的な活動を促すことができるつくりとなっている。

中田委員 教科書として重視すべき2点目の「生徒の主体的な学び」について、特に 優れているといえる教科書はどれか。

小野専門委員 生徒が保健の学習に意欲的に取り組むことができるようになっている特に 優れた教科書としては、東京書籍、大修館書店、学研があげられる。

東京書籍の72・73ページをご覧いただきたい。このように「交通事故の危険予測と回避」では、終末のQRコードを読み込むことで、マンガ形式の資料や動画教材にアクセスでき、生徒の関心を高めるとともに、より実践的な理解につながるよう工夫されている。

大修館書店の106・107ページをご覧いただきたい。大修館書店は、 交通ルールや環境整備を学習した後、終末で自転車を運転している場面想定 から考えることで、自分ごととして関心がもてるようになっている。また、 QRコードを読み込むことで、クイズ形式でのまとめができ、生徒の関心を 高めるよう工夫されている。

学研の112・113ページをご覧いただきたい。学研も、各ページの終末にQRコードが掲載され、読み込むと外部の関連サイト等へアクセスすることができ、関心のある内容を、さらに視野を広げて学ぶことができる工夫がされている。

中田委員 今の報告を伺うと、今回の教科書では、子どもたちの理解をより深めるために、QRコードを使って様々なデジタルコンテンツを活用できる教科書が増えていると感じる。各社のQRコードの数は。

小野専門委員 QRコードの数は、東京書籍87個、大日本図書29個、大修館書店13 1個、学研87個となっている。

小野寺委員 教科書として重視すべき3点目の「現代的な課題に触れる」について、特に優れているといえる教科書はどれか。

小野専門委員 現代的な課題にも触れて学習を進めることができる構成として特に優れた 教科書としては、東京書籍と大修館書店が挙げられる。

東京書籍は、SDGsや、近年被害が拡大している災害へ対応する情報活用に触れ、国のサイトやアプリ情報等を活用して自らの命を守る視点を提示している。

大修館書店は、SDGsや、性別の違いや障害の有無を超えた共生社会の 構築を大きく取り上げ、持続可能な社会を作る担い手としての視点を提示し、 各学習内容との関連付けをしている。

両社とも、SDGsについて大きく取り上げており、保健学習を通して、「一人ひとりの行動が未来を創っていくこと」「今後、持続可能な社会や世界を作る担い手としての意識を持つことの重要性」を生徒に強く投げかける内容となっている。

井上教育長

調査員報告や、ここまでの話では、東京書籍と大修館書店が優れているように感じるが、学校報告書を見ると、大修館書店と学研の評価が高いようである。大修館書店と学研について、学校からの評価が高い理由はどこにあると考えるのか。また、学研については、今、本市で学研の教科書を使っていることと関係があるのか。

小野専門委員

大修館書店については、学校報告書の中に「教科書の流れをそのまま生かして授業ができるので授業構成がやりやすい。」という意見があるように、この教科書を使って誰もが、主体的・対話的で深い学びを実現することができる点が、評価の高い一番の理由だと考えられる。経験の浅い教員にとっても、指導の手助けとなる教科書であると捉えている。また、「イラストや写真、図が見やすく、具体的で理解しやすい」という意見もあり、他の資料を活用するまでもなく、この教科書一冊で視覚的な理解も容易に図ることができることも、評価の高い理由であると考えられる。

学研の教科書は、現在本市で使用していると同時に、長年にわたって本市で使用されてきた教科書であり、教員にとって親しみのある教科書である。学校報告書からも「親しみ慣れているので見やすい。」という意見があったことから、評価の高い理由の一つと考えられる。しかし、慣れ親しんでいるだけではなく、授業者にとっては、主体的・対話的な学習展開による授業のしやすさや、多面的・多角的に生徒たちが考えるための工夫がされている点、幅広い学びにつなげることができるデジタルコンテンツの充実などが評価されているのだと考える。

井上教育長

調査員の評価が高いのが東京書籍と大修館書店、学校からの評価が高いの が大修館書店と学研という捉えでよろしいか。

小野専門委員

そのとおりである。したがって、調査員、学校の双方から評価が高い教科 書は、大修館書店だと捉えている。

井上教育長

他にご質問はあるか。無いようなので、これで保健体育に関する質疑を終了し、教科書を決定していきたいと思う。何か意見はあるか。

中田委員

この教科は、授業時間が少ないが、コンテンツが多い。その中で、東京書籍と大修館書店とで迷ったが、東京書籍を推薦したい。授業時間や扱う内容を考えると、デジタルコンテンツを活用することが重要になる。数だけではなく、その内容も重要であり、様々な動画コンテンツとリンクしていただき

たいと思う。また、川口市は若い教員が多いということで、教える側として もデジタルコンテンツの充実に期待を込めて、東京書籍を推したいと思う。

小野寺委員

私は大修館書店が良いと思う。内容として、課題をつかむ、きょうの学習、 学習のまとめ、という3ステップで実際の授業の流れに沿って進められており、生徒にわかりやすくなっていると共に、教員が効果的な指導ができるよう工夫されている。また、学びを生活や社会につなげるイラストや、図がわかりやすく、様々な資料が豊富であり、生徒が内容を理解しやすいと考える。

菅原委員

様々な観点から考えて、今回は大修館書店が良いと思う。一番の理由は、 現代的な課題に対応しているという点である。

齋藤委員

私も大修館書店を推薦したい。まず、QRコードについて、数だけでなく 内容も大事だが、131個という数も評価したい。また、SNSやLGBT も大きく取り上げて、子どもたちにメッセージを送るような構成になってい る。全体としても、大きなイラストや写真など、見やすい構成となっている。

井上教育長

私も大修館書店を推す。課題解決の道筋がしっかりしており、生徒の学びはもとより、若い教員の助けにもなると思う。

これまでの協議の内容や各委員のご意見から、大修館書店を推す声が多いようだが、保健体育は大修館書店を採択することに決定してよいか。

委員

(異議なし)

井上教育長

以上で保健体育について、協議を終了する。専門委員と事務局は退室を。 (保健体育専門委員・事務局 退室)

井上教育長

次に技術・家庭の専門委員・事務局の入室を求める。

(技術・家庭専門委員・事務局 入室)

専門委員会として、各学校からの報告書並びに調査員からの報告書等の意 見を十分汲み取って検討されてきたと思うが、教育委員会としても学習指導 要領の趣旨に則り、「生徒にとって学びやすく、教員にとって指導しやすい」 という観点で、よりよい教科書を選んでいきたいと考える。そこで、専門委 員・事務局に入室をお願いした。

これから、まず、技術の教科書について、専門委員会の調査、分析等をご 説明いただいた上で、質問をさせていただく。その後、家庭の教科書につい て、ご説明いただき、質疑に入る。それではお願いする。

山本専門委員

はじめに、技術・家庭科における川口市の生徒の実態と教員の実態についてご説明する。川口市の子どもたちは、テクノロジーの急速な進展や、生活環境の急激な変化の中で生活しており、今後もこの状況はますます進んで行くことが予想される。これらの変化に対応できる力が求められる生徒にとって、生活や社会におけるできごとを、テクノロジーとの関わりの視点でとらえて用いたり、家庭生活で必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けたり、生活の中で活用しようとしたりする実践的な態度が強くのぞまれる。

しかし実際には、ものづくりの体験不足や生活経験が少なくなっていたり、 外国籍の生徒を含め、家庭生活における考え方も多様であったり、生活経験 やものづくりの経験が一人ひとり異なるため、個人差が大きいことが挙げら れる。また、川口市の教員の実態としては、若い教員・経験の浅い教員が多 いことや臨任、再任用、非常勤の教員も多く、毎年入れ替わりも多くなって いるのが現状である。

このことを踏まえ、技術・家庭科の採用する教科書について報告する。

まず、技術分野について報告する。技術分野は3社からの採択となる。調査員会では、学習指導要領の内容と、川口市の生徒の実態・教員の実態を踏まえて検討した。まず、3社の特徴やよさについて報告する。

はじめに現在使用している東京書籍について報告する。調査員会の報告で は、題材が魅力的で、写真やイラストが多く活用され、説明も丁寧で、生徒 にとっても、また教員にとっても扱いやすく、学習が展開しやすい構成であ ること。学習指導要領で示されている技術分野の「技術の見方・考え方」の ヒントが掲載されており、全体の内容を通して技術の見方・考え方に気づき、 働かせる構成となっていること。また、中学校技術・家庭科に求められてい る問題解決能力について、各学習内容に問題解決のヒントとなるページが設 定されており、問題発見から解決する学習の流れが共通しているため、生徒 が主体的に見通しを持って学習に取り組める工夫がされている等の意見が あった。また、学校からの報告には、本文の構成において色合いやイラスト が見やすく、生徒にとって理解しやすい点や、豊富なQRコンテンツを活用 した授業展開が実施しやすい。また、問題解決を促すような問いがあり、問 題解決的な学習をしやすくなっているため、生徒・教員ともに扱いやすいな ど、学習効果を高める資料が充実している点が多く挙げられている。これら の点が、実践的な活動を通して問題解決能力を身につけるために必要な知 識・技能を習得できる構成となっていると考える。保護者からの意見は無か った。

次に、教育図書について報告する。調査員会の報告では、学習指導要領の 目標に対応した系統的な配列になっており、特にものづくりの体験を通して 技術分野の見方・考え方を働かせて問題解決力を身に付ける構成になってい ること。実習等の安全な進め方が最も丁寧に示されている等の意見があげら れた。学校からの報告では別冊「スキルアシスト」ハンドブックの活用にお ける利便性の充実に関する意見が多くあった。保護者からも内容のボリュー ムが多く、分かりやすいという意見があった。

最後に、開隆堂について報告する。調査員会の報告では、特筆すべき点と して各内容の学習過程で、トレードオフを用いた技術の問題解決の最適化の 考え方を身に付けられる構成になっていること。学習の流れが技術の見方・ 考え方を深める内容となっており、技術を用いた問題解決能力を育む内容が 充実していること等の意見があげられた。学校からの報告ではSDGsを意識した構成になっている点や、社会で技術に関わり活躍する方々のインタビューが取り入れられているなど、指導する内容の充実について多くの意見があった。保護者からの意見は無かった。

以上である。

井上教育長

ただいまの報告について、質疑を行う。何か質問はあるか。

小野寺委員

これからの持続可能な社会の構築と急激な社会の変化に対応するため、技術分野の力が重要だと思うが、専門委員会で特に重視したのは、どういう点か。

山本専門委員

重視した視点は3つある。1つ目は、生活や社会におけるできごとを、テクノロジーとの関わりの視点でとらえ、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性などに着目し、最適化しながらテクノロジーを用いるといった「技術の見方・考え方」に気づかせ、それを働かせたモノづくりなどの実践的・体験的な学習活動が充実している教科書であるかどうかということである。

2つ目は、視点の1つ目の学習活動等を通して、テクノロジーによるより よい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育むことができる教科書 であるかどうかということである。

3つ目は、本市の生徒たちの実態に沿った学びやすい教科書であるととも に、教員が使いやすく、指導しやすい教科書であるかどうかということであ る。

小野寺委員

教科書として重視すべき3点目の「生徒が学びやすい教科書」について、 生徒にとって学びやすく優れているといえる教科書はどのようなものか、見 解を教えていただきたい。

山本専門委員

題材が魅力的で、写真や資料が多く、説明が分かりやすいもの、生徒の生活の実態に応じた内容のものが学びやすい教科書といえる。3社とも生徒にとって学習を進めやすい構成となっているが、特に東京書籍は、写真や図を多く用いるなど資料がとても充実している。また、学習指導要領の目標に対応した系統的な学習が進められる構成になっており、問題解決能力や技術を管理する力を育める点がとても優れている。20~23ページのガイダンス「未来を創る 技術による問題解決」をご覧いただきたい。問題を発見し、課題を解決する場面では、解決までの流れがしめされており、生徒が考えを広げ、深めながら、よりよい解決策を見いだせる構成になっている。

井上教育長

技術科において文部科学省が示している「個別最適な学び」と「協働的な学び」を川口市の生徒にとって生かせるとしたら、どこの教科書とお考えか。

山本専門委員

東京書籍の教科書が適していると考える。個別学習、協働学習、家庭学習のそれぞれにおいて、個人で調べ学習する際やグループで協働的な学習をする際の教材としてQRコンテンツが豊富に用意されている。例えば、138ページをご覧いただきたい。これはドライヤーを分解するシミュレーション

動画である。生徒は自分のペースで調べ、学びを深めることができる。続いて107ページご覧いただきたい。思考ツールを各自がダウンロードし、ネットワーク上で協働的な学びを充実させることができる。

齋藤委員 東京書籍の教科書が適しているという意見が多いが、重視すべき1点目の 「技術の見方・考え方」についても、生徒が分かりやすいように説明できて

いるのか。

くのか。

山本専門委員 一例として、19ページのガイダンス「最適化の窓 のぞいてみよう!」

をご覧いただきたい。技術の見方・考え方で大切にすべき、最適化しながら 問題解決をする視点が多面的にわかりやすく示されているほか、全ての学習 内容において、扱う題材に関する「技術の見方・考え方」をスタートから確 認し、その後も、その「見方・考え方」を働かせながら、問題解決の学習に 取り組めるような構成になっている。

管原委員 教科書として重視すべき3点目の「教員が使いやすく、指導しやすい」と いう内容に関連して質問する。技術を指導する教員は、各校に1人が基本だ

と思うが、現在の年齢構成などはどうなのか。また、その年齢構成を踏まえて教員にとって使いやすい教科書はどれか、見解を教えていただきたい。

山本専門委員 本年度、市内の兼任を含めた技術分野教員26名のうち、初任者が1名、

5年経験以下の教員が4名、20年経験以下の教員が10名であり、そのほとんどが30代である。また、再任用1名、時間講師が3名おり、今後、再任用も増加していく可能性がある。このことから、今後は、若い教員とベテランの教員が共に指導力を高めていく必要がある。また、このような教員にとって東京書籍が使いやすい教科書であると考える。各学校からの報告でも若い教員とベテランの教員から「授業を進める上で、生徒の理解が深まりやすい」「問題解決的な学習がしやすい」など、東京書籍を推す意見が多くあった。このことから使いやすい教科書であると共に、指導力向上につながる教科書でもあると言える。

中田教育長 技術科として、ICT端末と教科書をどのように組み合わせて活用してい

山本専門委員 東京書籍・教育図書・開隆堂の3社とも、QRコードを掲載しており、G

IGAスクール端末を活用した授業や自学習による個別最適な学びへとつなげることができると考える。特に、東京書籍では、3D-CADモデルをはじめ、生徒が操作しながら、問題解決の一助となるツールが充実している。

井上教育長 他にご質問はあるか。無いようなので、技術に関する質疑を終了し、続いて、家庭について調査報告をお願いする。

山本専門委員 家庭分野について報告する。家庭分野は3社からの採択となる。調査員会 では、学習指導要領の内容と、川口市の生徒の実態・教員の実態を踏まえて

では、学習指導要領の内容と、川口市の生徒の実態・教員の実態を踏まえて検討した。まず、3社の特徴やよさについて報告する。

はじめに、現在使用している東京書籍について報告する。調査員会の報告

では、学習指導要領のねらいにそった具体的な手立てが明確で、ガイダンス ページをはじめ、学習の流れや学び方が丁寧に示されているため、授業での 効果的な活用が期待できる。また、小学校での学びを踏まえた学習の流れや 自立から共生に向かうストーリー性のある意図的な内容配列の工夫は、生徒 にとっても実生活とのつながりが意識しやすく、教員にとっても経験の差に 関係なく扱いやすい。さらに、思考ツールや基礎技能動画の充実など、豊富 なQRコンテンツは、個別最適な学び、協働的な学びを進めていく上で大変 活用の効果が期待できる点が特徴として挙げられた。学校調査報告書では、 「『生活メモ』が充実しており、生活体験の少ない生徒にとっても、大変有 効である。」「どのページにもQRコードがついており、GIGAスクール端 末が活用しやすい。」「学習課題が示され、授業の流れに沿って文章や図が構 成されていることから、若手の教員でも授業が進めやすい。」「中学生でも作 りやすい調理のレシピがたくさん載っている。」「食物アレルギーについて充 実した資料とともに、丁寧に注意喚起がなされている。」「災害の備えに関す る内容が、生徒自身が実生活で取り入れやすいものになっている。」という 意見があった。保護者の意見は、特に無かった。

次に、教育図書について報告する。調査員会の報告では、各内容の冒頭の「自立度チェック」や、小題材の導入課題における「見つめる」により、生活への問題意識をもたせ、興味・関心を引き出す工夫がみられること。様々な家族構成について、親しみやすいアニメの家族を取り入れるなど、生徒の興味をひきつける工夫がみられる、との意見があった。学校調査報告書では、「消費者問題では、問題点・問題提起が生徒目線で記載されている。」「多様な家族の在り方が冒頭にあることで固定観念にとらわれず、多様な学びへとつなげやすい。」「食品シールの付録や献立バランス計算ソフトが使える点がよい。」「色使いが鮮明で、写真がはっきりしている。」などの意見があった。保護者の意見は、特に無かった。

最後に、開隆堂について報告する。調査員会の報告では、学習指導要領と同じ内容配列順となっているため、学習指導要領の流れに沿って学習を進めたり、学習内容の確認を行ったりしやすい構成である。また、どの題材においても問いから始まり、生徒が日常生活の中から問題を見出し、課題を設定しやすくなっている。衣食住の記述に関しては、科学的な見方・考え方や説明の根拠が示されており、調理例ごとの大きな写真や「調理方法Q&A」からも、生徒が実習上の注意点やポイントをわかりやすく理解できる、との意見があった。学校調査報告書では、「図や写真、グラフが現状の社会問題も踏まえて構成されていてよい。」「『考えてみよう』というページが多く、生徒の思考力・判断力・表現力等の育成につながりやすい。」「資料が多く、視覚的によく、体験的な学習につながりやすい。」「図や写真が大きくて、見やすいよう配慮されている。」などの意見があった。保護者の意見は、「料理の

仕方や写真がよいと思う。」という意見があった。 以上である。

井上教育長

ただいまの報告について、質疑を行う。何か質問はあるか。

中田委員

あらためてもう一度伺うが、この度の採択において、家庭分野では特にどのような視点を重視したのか。

山本専門委員

重視した視点は3つある。

1つ目は、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点でとらえ、生涯にわたって、自立し、共に生きる生活が創造できるよう、よりよい生活を営むために工夫する「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた調理、製作等の実習などの実践的・体験的な学習活動が充実している教科書であるかどうかということである。

2つ目は、生活の中から問題を見いだし、課題設定し解決する問題解決的な学習の充実と、地域や社会との連携、協働など、よりよい生活の実現にむけて意欲的に取り組むことができる教科書であるかどうかということである。

3つ目は、本市の実態に即した、生徒にとってよくわかる、教員にとって 指導をしやすい教科書であるかどうかということである。

小野寺委員 山本専門委員 川口市の生徒の家庭科における課題は、どのようなことがあげられるのか。 少子高齢化、グローバル化、核家族化など社会の急激な変化や生活環境の 変化の中で、家庭の機能が十分に果たされていなかったり、生活経験が少な くなっていたりする状況があると言える。外国籍の生徒も多くなり、家庭生 活における考え方も多様になっている。生徒の生活経験が一人ひとり異なる ため、知識や技能においても個人差がある。社会の変化に主体的に対応する ことができるよう、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付けるとと もにそれらを活用し、身近な生活の課題を解決したり、実践したりできる力 を育むことが強くのぞまれる。家庭分野の学習では、実生活との関連を図っ た問題解決的な学習を効果的に取り入れ、資質・能力を育成することが必要 だと考える。

小野寺委員

家庭科を担当する教員は、各校に1人が基本だと思うが、川口市の教員の 指導力については如何か。実態について詳しく教えていただきたい。

山本専門委員

本年度、陽春分校を含む27校のうち、臨任や非常勤を除いた教員は21名のみとなる。この21名の中で、初任者を含めた5年経験以下の教員が10名、6年から10年経験者が4名、10年以上の経験がある教員は7名しかいない。本市では若い教員、経験の浅い教員が多いこと、さらに、臨任や再任用、非常勤の教員も多く、毎年入れ替わりが非常に多い状況である。

齋藤委員

家庭科において文部科学省が示している「個別最適な学び」と「協働的な学び」を川口市の生徒にとって生かせるとしたら、どこの教科書がよいとお考えか。

山本専門委員 東京書籍の教科書が適していると考える。「個別最適な学び」と「協働的な 学び」の一体的な充実に向けて、ICTの新たな可能性を指導に生かすこと は重要なポイントとなる。東京書籍の基礎的な技能習得に関わる動画はもち ろん、その他、思考ツールや問題解決シミュレーション、他教科とのリンク など、QRコンテンツが充実しており、活用時の学習効果が期待できると考 えている。4・5ページをご覧いただきたい。QRコンテンツの活用法につ いては、教科書のはじめに見開きで丁寧に説明されている。こういった視点 も、生徒にとって学習の見通しがつきやすくなったり、教員にとっても授業 づくりを進める手助けになったりすると考える。

井上教育長

調査員報告書と学校からの報告書をみると、3社のうち、東京書籍と開隆 堂がどちらも高く評価されているように感じられる。この2社について、も う一度整理して、具体的に説明していただきたい。

山本専門委員

実際に2社の特徴的な部分を見ていただきたい。同じ栄養の学習のページ である。小学校では五大栄養素と、食品に含まれる栄養素の特徴により、三 つのグループに分けることができることを学習する。

中学校では、さらに、栄養的な特質によって、食品は食品群に分類される ことを学習する。

はじめに、東京書籍34・35ページと、40から42ページをご覧いた だきたい。東京書籍では、小学校での既習事項である五大栄養素と三つのグ ループに分けられる学習を振り返った後に、新たに「6つの食品群」といっ た発展した学習につながる構成になっている。

次に、開隆堂98・99ページと、102・103ページをご覧いただき たい。開隆堂では、食品群の分類として新たな「6つの基礎食品群」を扱っ た後に、小学校で学習した内容が出てくる構成となっている。生徒の立場で 考えてみると、小学校で学習したことを踏まえて、中学校ではさらに学習が 発展し、新たな用語が出てくる東京書籍の構成の方が、ギャップを感じにく く、系統立てて取り組みやすいのではないかと考える。

菅原委員

昨年度、小学校家庭科の教科書は東京書籍が採択されており、小学校と同 じ教科書会社が良いから、東京書籍を選んだわけではないと思うが、そのこ とが、今年度の中学校の採択について、どの程度影響しているのか。

山本専門委員

子どもたちは、小学校5年生で初めてこの教科に出会い、小学校2年間の 学びの上に、中学校3年間の学びへとつながっていく。出版社が同じ教科書 であるということは、教科書の編成にあたっての理念や意図、貫く柱となる 考え方、構成等が近くなるといえる。教科としての学習内容の系統性だけで なく、生徒の学びの質にも反映されると考える。また、東京書籍が適してい ると考えた理由は、小学校家庭科で使用している出版社と同じであることが 大きな理由ではなく、これまでご説明した通り、実践例や題材等をはじめ、 内容などから判断した。

菅原委員 技術分野と家庭分野の出版会社が同じとなる場合、異なる場合についても、 専門委員の考えをお聞きしたい。

山本専門委員 技術分野と家庭科分野では、教える教員も学習内容も異なる。たとえそれぞれの出版社が異なっていても、日々の授業を行う中で決定的に困ることは無いと考える。しかし、本教科は技術分野、家庭分野の2つの分野を合わせて1つの教科である。出版社が同じであれば、先ほどの小学校家庭科の教科書との関わりに対する回答で申し上げた利点と、同様のことが考えられる。両方の分野を学ぶ生徒にとっては、各分野での学習や教科書の使い方による混乱は少なくなると考える。こちらも、決して技術分野の結果にならったわけではなく、家庭分野の学習における、内容などから判断をした。

井上教育長 他にご質問はあるか。無いようなので、これで家庭に関する質疑を終了し、 技術・家庭の教科書を決定していきたいと思う。まず、技術について採択すべきであると考える教科書を1社挙げ、その理由についてもお願いしたい。 中田委員 生徒、教員ともに扱いやすいことや、イラストや色合いが見やすくて良い

ことから、東京書籍が良いと思う。

小野寺委員 私も東京書籍が良いと思う。はじめにガイダンスで学習の流れを取り上げて、生徒が扱いやすいように工夫している。また、課題が身近なものを取り上げていて、生徒にとって考えやすいように工夫されている。目標、課題、資料と明確に分けて示されており、生徒にとって分かりやすいように工夫されており、生徒が内容を理解しやすいと考える。

管原委員 私も東京書籍が良いと思う。全体を通して、より良い生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う工夫がみられた。

齋藤委員 私も東京書籍を推薦したいと思う。実生活の中で、関わりのあること、解 決しなければならないこと、取り組まなければならないこと、様々なことが 多岐にわたって結びついていることがわかる。そして写真や資料、QRコー ドが非常に多く、生徒の興味を膨らませると思われる。

井上教育長 私も東京書籍が適していると思う。学習指導要領に沿った学習の流れが明確で、学習が進めやすい。このことにより、問題解決能力の育成が期待できると思われる。

これまでの協議の内容や各委員のご意見から、技術は東京書籍を採択することに決定してよいか。

委員(異議なし)

井上教育長 続いて家庭について、お願いする。

中田委員 東京書籍は、家庭における考え方の多様化に多く触れられている。また、 生徒にとっても実生活に繋げるくだりが意識しやすい。さらに、教員にとっ ても経験が少なくても対応しやすいことや、QRコンテンツも共に学ぶ、協 働して進める機会が与えられるということから、東京書籍を推薦したい。 小野寺委員

私も東京書籍が良いと思う。技術と同じで初めにガイダンスがあり、生徒が受け入れやすい。目標、学習課題という授業の流れに沿った資料が充実しており、生徒がわかりやすいとともに、教員も授業を組み立てやすいのではと思う。

菅原委員

東京書籍が良いと考える。実習や生活で必要となる基礎的な技能がわかり やすく掲載されている。また、教科書の最後に「選択」が設けられており、 自分で課題を見つけて解決していく上で有効である。

齋藤委員

私も東京書籍を推薦したいと思う。日常生活全てが家庭科の勉強、教材になっている。また、QRコードが多いのも魅力である。

井上教育長

私も東京書籍が適していると考える。先ほどの技術分野と同じで、学習指導要領に沿った学習の流れと、特に小学校との連続性、3年間の系統性がしっかりしている教科書だという印象をもっている。

これまでの協議の内容や各委員のご意見から、家庭も東京書籍を採択することに決定してよいか。

委員

(異議なし)

井上教育長

以上で技術・家庭について、協議を終了する。専門委員と事務局は退室を。 ここで暫時休憩とする。10分程度。

(技術・家庭専門委員・事務局 退室)

井上教育長

再開する。次に英語の専門委員・事務局の入室を求める。

(英語専門委員・事務局 入室)

専門委員会として、各学校からの報告書並びに調査員からの報告書等の意 見を十分汲み取って検討されてきたと思うが、教育委員会としても学習指導 要領の趣旨に則り、「生徒にとって学びやすく、教員にとって指導しやすい」 という観点で、よりよい教科書を選んでいきたいと考える。そこで、専門委 員・事務局に入室をお願いした。

これから、英語の教科書について、専門委員会の調査、分析等をご説明いただいた上で、質問をさせていただく。それではお願いする。

荻上専門委員

英語について報告する。英語は、6社についてそれぞれ優れている点を中心に調査・研究を進めた。次に学習指導要領では、「何ができるようになるか」という観点から子どもたちの資質・能力を育成することを求めている点を踏まえ、どの教科書が適しているか調査・研究した。では、各社の教科書について、報告する。

まず、東京書籍は、コミュニケーションを行う目的、場面、状況を意識しながら、既習内容を活用して行う言語活動をスモールステップで積み上げる構成となっている。題材は、生徒にとって身近なものや社会的に関心の高いものを扱うことで、生徒の学習意欲を喚起している。学校からも、題材は日本文化について取り上げたテーマが多く、身近な話題から学ぶのに適してい

るとの意見があった。保護者からは、以前のものよりもイラストや写真が多く使われており、とてもわかりやすい内容であるとの意見があった。

次に開隆堂は、場面や状況が生活に即している題材が多い点や、新出文法が対話形式での提示となっている点などにより、表現の使用場面を十分にイメージしながら練習できる構成となっており、知識及び技能の習得に向けて工夫がなされている。また、単元末にリテリング活動があることで、学習した内容を活用しながら自己表現活動を行うことができる。学校からは、社会問題など様々な題材が扱われているとともに、中学生にとって適切でわかりやすい文法事項のポイントがまとめられており、使いやすいと評価する意見があった。また、登場人物が年間を通して会話をしており、ラウンドシステムを軸とした授業の展開にも対応できるとの声もあった。

次に三省堂は、題材が中学生に身近な学校生活や日常の状況においての会話となっており、それらを通して多様な表現を学べる構成となっている。また、単元ごとに聞く、話す、読む、書く活動ができる学習課題が設定されている。学校からは、教科書の本文が対話文だけでなく、長文形式になっているものも多くあり、読解力の定着に効果があると感じられるとの意見があった。保護者からは、今の世代の子どもたちが興味を持ちそうな話題が含まれていて楽しみながら学べるとの意見があった。

次に教育出版は、ページごとに文法事項がまとめられ、基本文の説明と対話練習が設定されており、学習しやすい構成となっている。また、単元のGoalや生徒の生活に即した場面設定により、見通しを持って学習に取り組むことができる。学校からは、Goalへの見通しが良く、シンプルな構成である点や、SDGsとの関連が明確に示されており、教科横断的な指導がしやすい形であるとの意見があった。

次に光村図書は、3年間を通した登場人物によるストーリー性の高い会話 形式で構成されている。各ページにペアワーク、グループワークなどの活動 があり、教員が自校の生徒の実態に応じて様々な言語活動を展開しやすいた め、生徒が無理なくコミュニケーションの基礎を養うことができる。また、 新出文法の知識を活用することで、生徒が伝えたいことを英語で表現できる よう気付かせる問いかけが豊富に用意されており、知識・技能を生かして「書 く力」を育成できる。学校からも、題材に関する意見が多く、生徒が英語を 身近に感じられるような内容になっていることや、一貫した登場人物とスト ーリーは、読者を引き込む興味深い展開となっており、題材に繰り返し触れ るラウンドシステムを軸とした授業に適しているといった意見が多くあっ た。また、小学校との接続も充実しており、生徒が考えながらコミュニケー ション活動などを行えるようになっているとの声もった。

最後に啓林館は、各単元の目標がインプットとアウトプットの二本立てで 設定されている。日本内外の文化や習慣などを通して、目的、場面、状況に 応じた表現を幅広く身に付けられる構成となっている。また、文法や文構造が系統的に整理されている。学校からは、外国語の背景にある異文化をモチーフにした教材が充実しており、異文化を知って外国に興味を持たせたり、日本文化の理解を深めるたりするのに良いという意見があった。

井上教育長 ただいまの報告について、質疑を行う。何か質問はあるか。 小野寺委員 中学校学習指導要領の外国語科のポイントとなる点はどこか。 荻上専門委員 ポイントは3点である。

1点目は、「語彙や文法等の知識がどれだけ身に付いたか」に主眼が置かれるのではなく「英語を使って何ができるようになるか」という観点から、「生きて働く『知識・技能』の習得」を重視している。「語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解する」という「知識」の面と、その知識を「実際のコミュニケーションにおいて活用できる」という「技能」の両面から身に付けることを目標としている。

2点目は、英語を使ってコミュニケーションを行う「目的や場面、状況」を意識させることである。どのような場面で、どのような目的で、どのような相手の状況に対して使う表現かを、実際のやり取りを通じて体験し、理解させることを重視している。これは、小学校学習指導要領における外国語科でも、特に強調されている。

3点目は、「授業は英語で行うことを基本とする」ことが明示されており、「即興で話す力」の育成が求められている。これは、生徒が授業の中で「英語に触れる機会」の確保と、授業全体を「英語を使った実際のコミュニケーションの場面」とすることをねらいとしている。さらに、既習の表現を用いながら、教科書の内容を説明したり、生徒とやり取りを行ったりすることで、教員の使用する英語が生徒にとって効果的なインプットとなることが求められている。

中田委員 本市中学校では、5ラウンドシステム指導法を実施していると思うが、そ の取組の成果や課題はどんな点か。

荻上専門委員 まず前提として、中学校学習指導要領の開始に伴い、本市では令和3年度から、教科書を効果的に活用する指導法である「5ラウンドシステム」指導法を軸とした授業改善の取組を全中学校で開始し、今年度、4年目を迎えている。この取組の成果としては、聞く力と話す力の向上である。本市では長年にわたり、4技能のうち、「聞くこと」に課題があったが、昨年度の埼玉県学力・学習状況調査において、中2、中3のどちらの学年も県の平均正答率を上回ることができ、直近9年間で最も高い結果となった。また、昨年度の全国学力・学習状況調査では、「話すこと」の領域で、成果が見られた。これは、教科書を活用した5ラウンドシステム指導法による教員の授業改善が、「聞くこと」の育成から「話すこと」の育成につながった結果と考えることができ、一定の成果と捉えている。一方で、今後の課題は、「書くこと」

の技能である。

齋藤委員

5ラウンドシステム指導法を導入したことにより、聞く技能が伸びたとの ことだが、今後の課題と捉えている書く技能を伸ばすために優れている教科 書は、どの教科書だと言えるのか。

荻上専門委員

書く技能を伸ばすために優れている教科書は開隆堂と光村図書の2社であると考える。両社に共通している特徴は、英語を書く必然性のある目的、場面、状況の設定や、発表活動に向けて、段階的な学習の課題設定がなされており、本市の課題である「書くこと」の技能が育成できる構成となっていることが挙げられる。

菅原委員

開隆堂と光村図書の2社のうち、そのほかに優れている点があるのは、ど ちらの教科書か。

荻上専門委員

書く技能の育成の他に優れている点があるのは、光村図書であると考える。 その特徴は3点である。

1点目は、題材全体にストーリー性があり、コミュニケーションを行うための目的、必然性のある場面、状況が設定されていること。

2点目は、小学校3年生から6年生の4年間で積み上げてきた「英語を聞いたり、話したりする言語活動」を十分に生かした学習の接続ができ、文法や語彙・表現において系統的な指導ができる構成であること。

3点目は、教科書の題材を繰り返し学習する5ラウンドシステム指導法による効果的な指導が可能である構成となっていることである。

井上教育長

光村図書が適しているとの報告だが、5ラウンドシステム指導法を軸とした授業の詳しい内容と、光村図書のどのような点が、この指導法に適しているのか説明を求める。

荻上専門委員

まず、5ラウンドシステム指導法の流れについて説明する。この指導法は、 5つのステップにより、教科書の題材を年間を通して繰り返し学習する指導 方法である。

ラウンド1では、単元のストーリーを10回程度聞き、リスニングによる内容理解を行うことを目的として「聞く力」を十分に訓練する。続くラウンド2では、音声を通して聞いて理解したストーリーを単語や文などの文字と一致させるリスニング活動を行う。次に、ラウンド3、4では、ここまで十分に理解したストーリーを基に、文法の学習や、声に出して教科書本文を読む音読活動へとステップを進める。ここまで計40回以上聞いたり、発話したりを繰り返しながら、十分なインプット活動を行い、最後にラウンド5でアウトプットするリテリング活動につなげていく。この活動は、「単元のストーリーを自分の言葉に変えて相手に伝える活動」である。

以上、ご説明した本指導法の特質を踏まえたとき、5ラウンドシステム指導法を軸とした授業を展開するために適している教科書は、光村図書であると考えた。

その理由としては、2点ある。

1点目は、英語の教科書において重要な要素の一つは「題材」である。この点において、生徒がコミュニケーションを行う「目的」「場面」「状況」を理解するのに最適なストーリー設定がなされているのは、光村図書である。開隆堂も一貫した登場人物による題材設定ではあるものの、3年間を通したストーリーとしてはつながりが感じにくく、中学生の生活に即した場面が少ないため、感情移入しにくいと考える。

一方、光村図書は、3年間を通したひと続きのストーリー展開となっていることが大きな特徴である。加えて、そのストーリーは、中学生の日常生活に即した場面が多く、生徒が登場人物の発言や性格に共感しながら英語表現を習得しやすく、ストーリーを繰り返し聞いたり、読んだり、話したり、書いたりする5ラウンドシステム指導法に適していると考える。

2点目は、5ラウンドシステム指導法の導入から4年目となり、初任者からベテラン教員まで本指導法を軸とした授業展開が定着しつつあり、一定以上の水準で授業が展開できる無理のない構成であることが挙げられる。

以上のような点を鑑みると、光村図書が教科書を効果的に活用した指導が 展開できるとともに、本市の実態に最も即した教科書と言えると考える。

井上教育長

他にご質問はあるか。無いようなので、これで英語に関する質疑を終了し、 教科書を決定していきたいと思う。何か意見はあるか。

中田委員

光村図書である。ストーリー性がある内容になっており、本市で行っている5ラウンドシステムに適している。それによって成果が上がっているという報告もあったためである。

小野寺委員

私も光村図書が良いと思う。川口市の5ラウンドシステムのことを考慮すると、ストーリーが順序を追って進んでゆく点が適している。また、内容も4技能を意識した構成になっており、扱いやすい様に工夫されている。さらに、帯活動教材があり、日々の活動に役立てることができると思う。

菅原委員

私も光村図書が良いと思う。2人の委員と同じで、5ラウンドシステム指導法の為にも良いこと。もう1点は、学習者用デジタル教科書が、生徒にとって使ってみたい、スピーチしてみたいと思わせるような構成と内容であり、実際に見たところ、クオリティが高いと感じた。

齋藤委員

私も光村図書が良いと思う。5ラウンドシステム指導法で成果もあげており、それには欠かせない教材であると思う。3年間ストーリーが続くことで、子どもたちや教員にとっても親しみがわき、親しみがわくと距離が近くなることで興味が持てる。英語学習に更に興味をもつという期待ができる。

井上教育長

私も光村図書が良いと考える。3年間ストーリー性があり、自分の言葉で 英語を話すという点が非常に優れている。また、デジタルコンテンツについ ても見たところ、他社と比べて丁寧な作り込みになっており、聞く、話す、 読む、書くがバランスよく身につくという印象を受けた。 これまでの協議の内容や各委員のご意見から、英語は光村図書を採択することに決定してよいか。

委員

(異議なし)

井上教育長

以上で英語について、協議を終了する。専門委員と事務局は退室を。

(英語専門委員・事務局 退室)

井上教育長

次に特別の教科 道徳の専門委員・事務局の入室を求める。

(特別の教科 道徳専門委員・事務局 入室)

専門委員会として、各学校からの報告書並びに調査員からの報告書等の意見を十分汲み取って検討されてきたと思うが、教育委員会としても学習指導要領の趣旨に則り、「生徒にとって学びやすく、教員にとって指導しやすい」という観点で、よりよい教科書を選んでいきたいと考える。そこで、専門委員・事務局に入室をお願いした。

これから、道徳の教科書について、専門委員会の調査、分析等をご説明いただいた上で、質問をさせていただく。それではお願いする。

片倉専門委員

特別の教科 道徳について報告する。道徳科では、学習指導要領で示されている目標をはじめ、趣旨や要点を踏まえ、専門委員会として本市の生徒の実態の中での課題として大きく3点を挙げた。1点目は「自尊感情の低い生徒が多いこと」、2点目は「海外につながりを持つ生徒が多いこと」、そして3点目は「いじめ防止の視点に立った、自他を大切にする意識」である。これらの視点から調査研究を行った。それでは、各社の教科書について学校調査や保護者意見もあわせて報告する。

東京書籍は、本市の課題に関連する内容項目の教材が充実しており、総合的に優れていて、バランスの良い教科書である。各学年で、いじめ問題と生命尊重の教材がユニット化されており、集中して扱うことで道徳性を養えるよう配慮されている。他にも、現代的な課題から長年親しまれてきた教材まで幅広く扱っており、また、問題解決的な学習や体験的な学習が豊富で、それぞれの道徳的諸価値について多面的・多角的に考えることができる工夫が見られる。本市では、現在使用している会社のものであり、各学校で教材研究が進んでいる。教員の技量に捉われず、道徳科の特質を踏まえ、ねらいを明確にして、一定以上の質で授業を行うことが期待できる。

教育出版は、「いじめ等の人権問題」「持続可能な社会」「生命の尊さ」について教材をユニット化し、また、いじめを防ぐために継続して考えられるよう全学年にコミュニケーションスキルを学ぶコラムを体系的に配置している。全ての教材の導入に設定された問いと、構造化された3つの問いによって、道徳的諸価値について考えを深められるよう、1時間の学びが分かりやすく記載されており、生徒・教員ともに扱いやすい教科書であると感じた。

光村図書は、道徳の授業開きに活用するオリエンテーションの教材が充実

しており、道徳の学習を始めるにあたり、年間で学ぶ内容が分かりやすく示されている。また、自ら問いをもち、協働して解決に向かっていく姿勢を養えるよう、全学年に、本質を探る教材や問いを立てる手引き、互いに問い合いながらより良い考えをつくる問題解決的な手引き、話し合いの活性化に役立つ思考ツールの紹介などが充実している。しかし、活動重視になってしまい、本来の道徳科が目指すべきものを見失わないように配慮する必要があるとも言える。

日本文教出版は、いじめやSDGsといった現代的な課題については、ユニットとして年間計画に複数回、配置されている。特に、いじめについては、長期休み明けに配置し、未然防止につながるよう工夫されている。また、QRコンテンツが充実しており、動画や関連資料など、授業の導入や終末で活用することで、生徒の学びを深めることが期待できる。コラムや問題解決的な学習も充実しており、道徳的諸価値について多面的多角的に考えを深めていくために効果的である。一方で、発問は2つに精選されており、補助発問や問い返しを研究する必要性があることから、経験の浅い授業者にとっては難しさを感じることも考えられる。

学研は、「いのち」の教育が最重点テーマとされており、内容項目「生命の尊さ」は全ての学年で3本ずつ配置し、「家族愛」や「より良く生きる喜び」など様々な内容項目でも生命の尊さについて、改めて気づくことができるようになっている。本市の課題に関連する内容項目の教材が充実しており、いじめ防止に関連する教材も多く配置しているが、ユニットとしては「SDGs」「キャリア」「多様性」を扱っており、いじめとして特化したものは無い。

あかつき教育図書は、重点的に学習できるように、現代的課題の教材が4つにユニット化されている一方で、昔から親しまれている定番教材も数多く掲載されており、本市の課題に関連する内容項目の教材が充実している。各学年の冒頭に授業開きの1時間をとり、また、毎授業においてもねらいに迫る発問と自分に問い直す発問によって、思考を深めていく構成になっている。問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習を意図した教材は各学年に3本ずつ設けられているが、生徒がそれぞれの見方・考え方を通して思考を深めることを重視し工夫されている。

日本教科書は、道徳の授業のなかで、ウェルビーングに関する資質・能力を身に付けられるよう、各学年の巻末付録に26枚の「ウェルビーングカード」を掲載してある点が他社にはないものである。ウェルビーングの観点からより良く生きることについて主体的に考えさせることが期待できるが、枚数が多く、使いづらさがないか懸念される。教材については、特別にユニット化されたものは無い。また、他の出版社と異なり、教材が内容項目順に配列されていることから、各学校が計画を一から組み立てる必要がある。

次に、学校報告書について、学校からの評価が高かった3社について報告

する。他社や詳細については、資料のとおりである。最も学校からの評価が高かったのは東京書籍である。意見としては「現行の教科書であり生徒、教員ともに親しみがある上に、内容も新しくなっている。」「『いじめ』や『いのち』について、複数時間でまとめて学習することで、生徒の学習が深まると思われる。」といった意見があった。東京書籍に続く教科書として光村と日本文教出版が高い評価を得ていた。光村は、「生徒にとって興味関心を引く身近に感じられる教材である。イラストや図の使い方や量が、考える余白を残している形で非常に優れている。」といった意見があった。

日本文教出版は、「現代的な課題についてユニット化されているとともに、 コラム、資料によって見方や考え方を変えたり、広げたりすることができる ようになっている」といった意見があった。

保護者からは「東京書籍がよい。内容に変化があっていいと思う。」「子どもの目線から見ると、途中で出版社が変わるよりは同じ出版社で3年間学べる方が使いやすいのではないかと思います。教員の指導のしやすさ重視で選定していただければと存じます。」との意見があった。

以上である。

井上教育長

ただいまの報告について、質疑を行う。何か質問はあるか。

菅原委員

改めて確認するが、特別の教科 道徳の目標や授業を行うにあたり大切に すべきポイントとはどのような点か。

片倉専門委員

特別の教科 道徳の目標は、端的に申し上げると「道徳性を養うこと」である。授業を行うにあたり大切にすべきポイントは、道徳科の目標に示されている「道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習」ができる授業を行うことである。

菅原委員

報告書の観点の中に、「本市の生徒に適した工夫や特徴等」として内容項目の中でも特に、生命の尊重、希望と勇気、よりよく生きる喜び、国際理解・ 国際貢献の4つが挙げられている。それらの内容項目を挙げている理由は。

片倉専門委員

報告書で挙げた4つの内容項目は、本市の生徒の課題に対応したものである。これらを挙げた理由として、1点目は、いじめ問題への対応である。生徒が自他を尊重し、その大切な命を守ること、受け継がれ、受け継いでいく命の大切さについて考えることが必要である。

2点目は、本市の子どもたちの特徴として、自己肯定感が高い生徒の割合が、全国や県と比べ低い傾向であることが挙げられる。令和5年度の全国学力・学習状況調査でも、「自分には、よいところがある」という質問項目で、肯定的な回答をした生徒の割合は、全国平均、県平均ともに下回った。自分に自信を持ち、困難を乗り越えようとする勇気を持てる生徒を育てることは、本市の課題である。更に、自分自身の弱さを見つめ、それを克服し、よりよく生きることに喜びを見いだすことができる心情を育てていくことも大切

である。

3点目は、国際理解・国際貢献の精神を持ち、多文化共生社会を実現していく生徒を育てることである。本市の特徴として、海外にルーツを持つ児童生徒が多く在籍し、共に学ぶ環境があることが挙げられる。お互いを認め、尊重し合うことが、これからの多様化する社会で生きる子ども達にとって不可欠なものである。

小野寺委員 今の専門委員の発言にもあったが、本市でも、いじめに対する指導を充実 させることが大切であると思う。そのような点で教材が充実しているのは、 どの会社の教科書か。

片倉専門委員 各社ともいじめ防止の教材に力を入れていることがうかがえるが、東京書 籍と日本文教出版、学研が充実している。

東京書籍は全学年でいじめ問題を直接的に考えられる教材をユニット化して配置している。学年ごとに、いじめを取り巻く様々な立場から多面的・多角的に考えられるように工夫されている。

日本文教出版もいじめに関わる教材をユニット化している。不登校やいじめなどが起こることが懸念される、2学期はじめに授業ができるように、工夫されている。また、アンガーマネジメントのスキルの紹介も充実している。学研の教科書では、いじめ防止のために、人権感覚について考えられる教材を、年間を通してバランスよく配置している。

小野寺委員 先ほどの質問にあった、生命の尊重、希望と勇気、よりよく生きる喜びの 教材が充実している教科書はどの会社のものか。

片倉専門委員 各社ともに様々な工夫がされているが、質問の内容項目について調査員の 評価が高かった教科書は、東京書籍とあかつき教育図書、学研の3社のもの である。

東京書籍は生命の尊重について、ユニット「いのちを考える」を全学年に設け、様々なテーマを3つの教材を続けて扱うことで、じっくりと考えを深めることができる。また、新たに「防災」という視点を取り入れて、命の大切さを違った角度から捉えさせようとしている点が特徴的である。

あかつきは、「生命の尊さ」「より良く生きる喜び」をあかつきの教科書の 重点項目としており、いじめ防止・人権尊重に関わる教材が充実している。 学研は「いのちの教育」について重点をおいている。生命の尊重だけを絞 ると、最も教材の収録数が多い。また、困難を乗り越える力を指す「レジリ エンス」を養うための教材を取り入れたという点で特徴的である。

小野寺委員 先ほどの専門委員の発言にあったように、多文化共生社会の実現のための 国際理解・国際貢献の意識は重要であると思う。特に国際理解・国際貢献に ついて、充実している教科書はどれか。

片倉専門委員 国際理解・国際貢献の教材が充実している教科書は、東京書籍、日本文教 出版の2社である。2社ともに教材の本数が他者と比べ多く、その分、国際 理解・国際親善について、身近な他者の視点から国や民族などの大きな視点 まで、幅広く考えることができる。

中田委員

小学校で採択された教科書には付属のノートがある。今回の中学校の教科 書の中にも付属のノートがついているものがあるが、中学校で実際に授業を する上で、ノートの有無については何か影響があるのか。

片倉専門委員

学校現場では多くの場合、それぞれの学校で工夫したワークシートや独自のノートを使用しており、付属のノートの有無によって大きな影響は与えないと考える。今回の採択でノートが付属している教科書は 日本文教出版のみである。前回の採択時にも日本文教出版は付属のノートがあった。今回は前回に比べ自由に記述できる枠が大幅に増えた。シンプルで授業者の意図に応じて多様な活用ができるようになった反面、経験の浅い教員や不慣れな教員にとっては、授業を行う上でのガイド的な機能が低下した印象があり、市販のノートと大きな差はないのではないかと捉えている。

中田委員

各社の教科書は、4年前の採択時と比べて改善がされていると思うが、特に現代的な課題について、生徒が考えを深められるような改善がなされている教科書はあるか。

片倉専門委員

各社ともに4年前と比べ様々な改善がなされている。現代的な課題について大きな改善がされている教科書としては、日本文教出版、教育出版、光村図書が挙げられる。

日本文教出版はSDGsに関わる教材やコラムが充実している。また、「視野を広げて」というページを各学年に置き、生徒が知識を深め、多面的・多角的に考える工夫がされている。

教育出版はSDGsに関連させ、環境や平和について考える教材が充実している。小中学校の接続や高校進学後の「公共」の授業にも繋げられるような教材もある。

光村図書はいじめ問題、情報モラル、防災、SDGsといった現代的な課題についての教材がバランスよく掲載されている。

齋藤委員

問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習について、生徒の取り組みやすさや考えを深められる工夫がなされている教科書はあるか。

片倉専門委員

問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習については、特に東京書籍、光村図書、学研の教科書が工夫されている。

東京書籍は教材と関連したテーマを深化・拡充させるコラムが充実している。様々な視点から道徳的諸価値の意義について考えを深められる工夫がある。更に、役割演技を取り入れた授業展開を教科書の中で示すなど、主体的に考えるための工夫がされている。

光村図書は、問題解決的な学習や、生徒自らが問いを立てて考えるための 手引きが充実している。思考ツールを紹介することで、生徒が考えを整理し、 話し合いを活発に行えるよう工夫されている。 学研は、「深めよう」というページで、役割演技や思考ツールの活用など、 考えや話し合いを深める手引きが充実している。三行詩や手紙の作成など、 深い学びに導くために多様な学び方を提案している。

齋藤委員

教材の写真や挿絵などの内容やレイアウトが誰にとっても見やすく、効果的である教科書が、本市の生徒たちが授業を受けるうえで大切になると思う。また、ICTを効果的に活用するためのデジタルコンテンツもこれからの授業では必要だと考えるが、こうした視点で工夫のある教科書はどれか。

片倉専門委員

委員ご指摘のとおり、本市で学ぶ生徒たちにとって、誰にとっても見やすくわかりやすい教科書であることは重要であると考える。そうした視点では、東京書籍、光村図書の教科書に特徴がある。

光村図書は内容項目と教材の関連がわかりやすく表記されている。やや難しいテーマであっても、挿絵や漫画などを多く取り入れることで、生徒にとって親しみやすくなるような工夫がされている。また、QRコードが多数配置され、それを読み込むと、教材で取り扱った人物のインタビューや朗読音声などを視聴できる。

東京書籍はNHK for Schoolの内容を教材として取り入れ、動画を視聴しながら授業を進めることができる。写真やグラフから考える教材もあり、文字だけでは読み取り切れない情報を効果的に提示している。また、QRコードから読み取るコンテンツも充実している。

井上教育長

学校報告書を見ると、東京書籍、日本文教出版、光村図書の評価が高いようだが、どのように報告されているか。

片倉専門委員

学校報告書によると、東京書籍については、「『いじめ』『いのち』について、複数時間でまとめて学習をすることで、生徒の学習が深まると思われる。SDGsやSNSなど、現代的課題について考える教材がある。」「教材の質が高く、生徒に考えさせたいことが明確になっている。教材の種類によって問題解決型の学習や体験的な学習など、様々な手法が取り入れやすい。」「スポーツで活躍する人物の教材や中学生にとって身近な教材も多く、これからの生き方について深く考えられるよう工夫されている。発達段階に応じた教材の配置にも工夫されている」などの評価があった。

日本文教出版については、「古くから載っている教材が多くあるとともに、流行りの漫画や最近のスポーツ選手の題材があり、バランスよく読みやすく考えやすいと感じた」「いじめやSDGsといった現代的な課題についてユニット化されているとともに、教材の後にある『視野を広げて』というコラム、資料によって、見方や考え方を変えたり、広げたりすることができるようになっている。」などの評価があった。

光村図書については、「時代の流行や生徒にとって興味、関心がもてるような教材が充実している。挿絵や写真が見やすい。」「対話を通して問題を解決するための段階を示し、道徳的価値に対する考えが深められるように工夫さ

れている。」などの評価があった。

井上教育長 他にご質問はあるか。無いようなので、これで特別の教科 道徳に関する 質疑を終了し、教科書を決定していきたいと思う。何か意見はあるか。

中田委員 東京書籍を推薦したいと思う。専門委員会からの話にもあるように、総合 的にバランスが良くできている。学ぶ側も教える側も使いやすいのではない か。全体的に感じたこととして、情報モラルに関する教材が少なくなってい ると感じる。しかし、これは道徳が教科化された直後と比べて、集約が進ん

でいるということだろう。

小野寺委員 私も東京書籍が良いと思う。教材名の前に学習のテーマが示されており、

内容項目との関係が分かりやすく、また内容への関心、意欲を高められるよう、写真や挿入絵などのビジュアル等が充実している。いじめ、命について取り上げており、複数時間でまとめて学習をすることで生徒の学習が深まると思われる。教材として多方面の多くの人物を取り上げており、生徒の興味

関心を刺激する内容になっている。

菅原委員 私も東京書籍が良いと考える。いじめ問題や情報モラルなどの現代的な課

題について、題材を各学年バランスよく掲載している。また、日常生活や、 他教科との関連も非常に意識して生かせるような工夫が見られた。

齋藤委員 私も東京書籍を推薦したい。いじめや命について奥が深く、見方によって

は多岐にわたる内容をコンパクトにまとめている。わかりやすく伝えるメッセージ的な表現を評価したい。また、SNS等が話題になっているが、しっかり理解できるように工夫されている。QRコードも非常に充実し、生徒が

興味をもてる工夫をしている点からも東京書籍を推薦したい。

井上教育長 私も東京書籍が良いと思う。いじめ、生命尊重、SNS、それに加えて防

災など現代的な課題、また一方では、これまでも長く扱ってきた定番の教材

も扱われ、総合的にバランスがよい。

これまでの協議の内容や各委員のご意見から、特別の教科 道徳は東京書

籍を採択することに決定してよいか。

委員(異議なし)

井上教育長 以上で特別の教科 道徳について、協議を終了する。専門委員と事務局は

退室を。

(特別の教科 道徳専門委員、事務局 退室)

井上教育長 それでは、議案第93号「令和7年度使用中学校教科用図書の採択につい

て」の協議が終了したので、採択した教科書の確認をする。

すべての中学校の教科書については、

国語・・・光村図書

書写・・・光村図書

社会(地理)・・・東京書籍

社会(歴史)・・・東京書籍

社会(公民)・・・東京書籍

地図・・・帝国書院

数学・・・啓林館

理科・・・東京書籍

音楽(一般)・・・教育芸術社

音楽(器楽)・・教育芸術社

美術・・・日本文教出版

保健体育・・・大修館書店

技術・家庭(技術分野)・・・東京書籍

技術・家庭(家庭分野)・・・東京書籍

英語・・・光村図書

特別の教科 道徳・・・東京書籍

ということになった。

以上で、議案第93号「令和7年度使用中学校教科用図書の採択について」 を可決する。

7 その他

なし

8 閉 会

井上教育長 以上をもって本日の教育委員会定例会を閉会する。(午後4時41分)